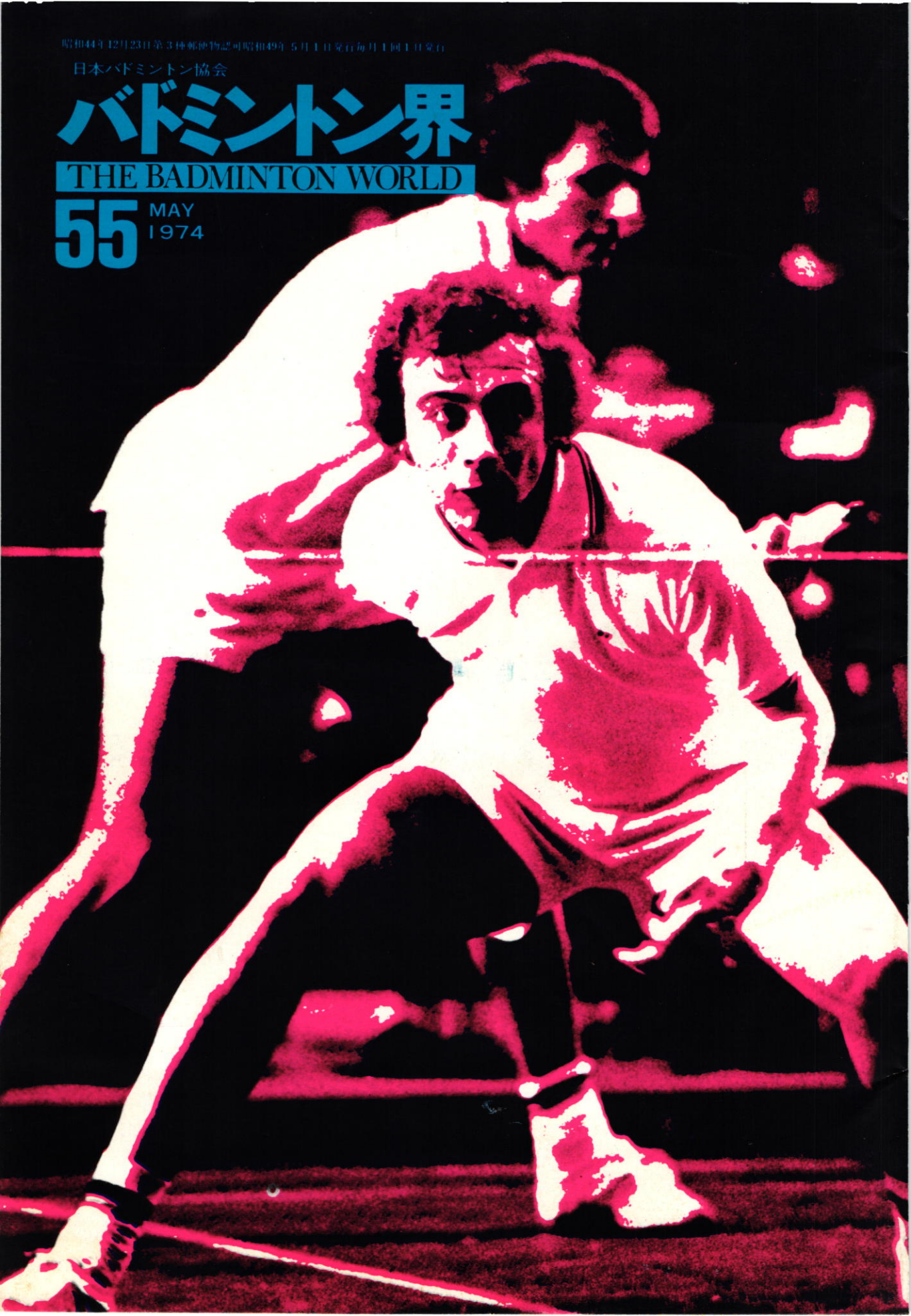
昭和44年12月23日第3種郵便物認可昭和49年5月1日発行毎月1回1日発行

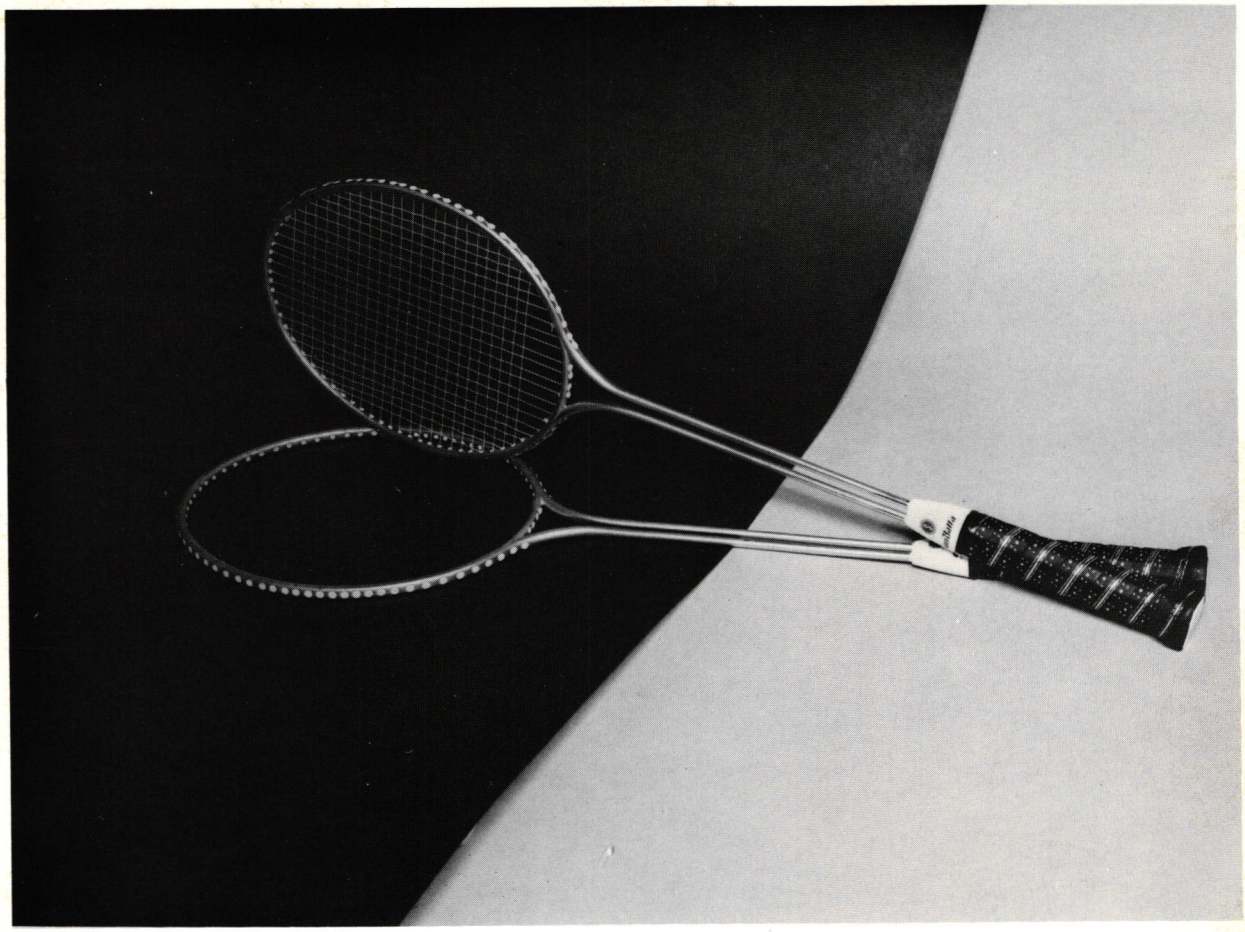
日本バドミントン協会

バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

55 MAY 1974





ALL STEEL RACKET SunBatta TWIN SHAFT

究明され！
完成された！
S-74
ALL ROUND

プレーヤーが長い間求めていたオールスチールが誕生しました。
従来のオールスチールラケットの利点及び欠点をあらゆる角度から究明され改良をし今ここに完成され皆様の目の前に現われました。
ツインシャフトの採用によって、フレームとシャフトとのひねりが最小限に押えられ自由自在なショットを楽しむ事が出来るでしょう。
アタックによし、レシーブによし、それがＳ-74オールラウンドです。
◇フレームのみ（ケース付）￥ 5,000

SunBatta TOKYO TRADE MARK

サンバタ



バドミントン界

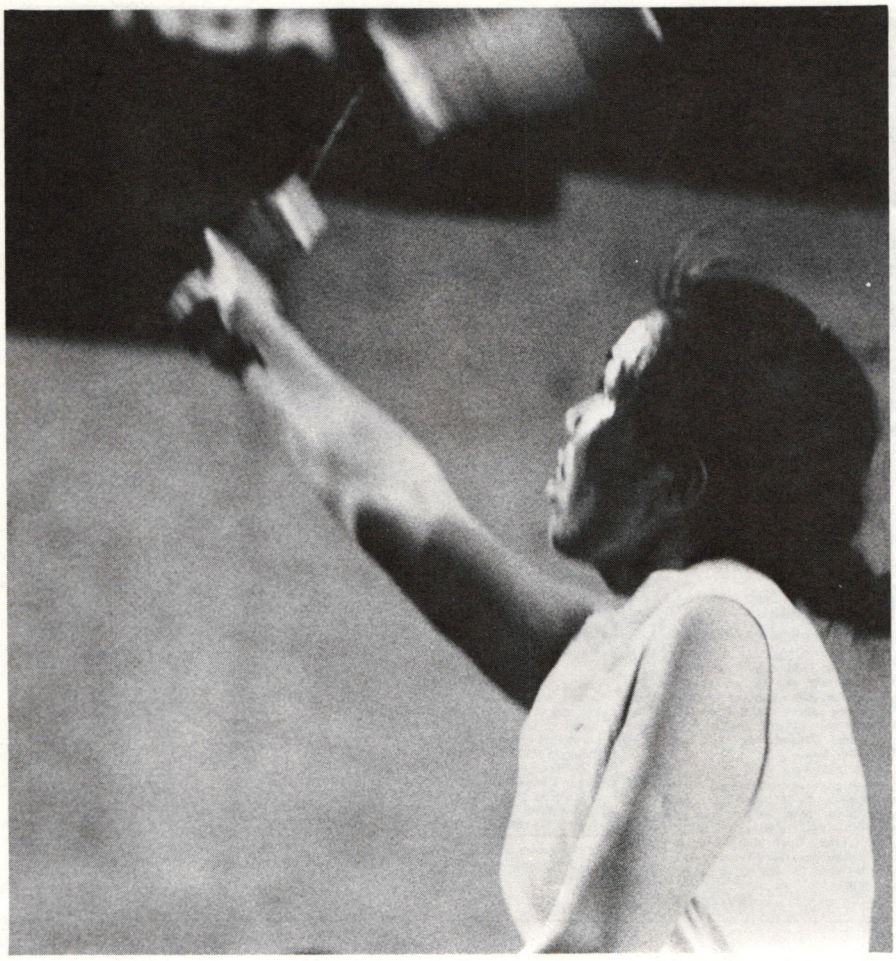
〈49年5月号〉

★第五回女子チャンピオンズトーナメント……2
★体当たり実戦教室（第四回）小島一平……6
★私の歩んできた道（第三回）中山紀子……8
バドミントンと私（地主大造）……10
★チャンピオンズトーナメント写真集……14
お知らせとお願い……35
読者と編集者……36
マスコミのとらえたバドミントン……38
協会通信……39
編集室から・次号予告……40

スタッフ／表紙撮影・山田真市／同制作・小浜正道／グラフ写真・山田真市／協力・日本協会事務局、各都道府県協会、愛読者

第5回全日本女子チャンピオンズトーナメント

湯木、若手の挑戦を退け、圧倒的な優勝



第五回全日本女子チャンピオンズトーナメントは、四月二十一日午前十一時から、東京渋谷の岸記念体育館で開催された。

前年度の各種国内大会優勝者もしくは、それに準ずる選手によって覇を争う本大会も第五回を数え、熱戦を期待されたが、試合内容は、湯木博恵が、圧倒的な強さをみせ、全英チャンピオンの実力をいかんなく発揮して楽勝し、全体に盛り上がりがいまひとつといったところだった。

今回の出場選手は次の七選手で、昨年度全日本総合選手権ダブルス一位、シングルス二位の竹中悦子(ヨネックススポーツ)は、耳を痛め欠場した。

湯木博恵(河崎ラケット工業)
昨年度全日本総合選手権シングルス一位、同ダブルス二位

相沢マチ子(ヨネックススポーツ)・昨年度全日本総合選手権ダブルス一位

石崎茂子(電電東京)・昨年度全日本社会人選手権シングルス一位

池田美加(河崎ラケット工業)
昨年度全日本学生選手権ダブルス一位

古谷成代(日本体育大学)・昨年度全日本学生選手権シングルス一位

徳田敦子(四条畷学園短大)・昨年度全国高校選手権シングルス一位

井上昌子(日本体育大学)・昨年度全国高校選手権シングルス二位

▽一回戦

相　沢　2(11－2)(11－7)0　井　上

〔評〕 第一ゲーム井上は1－0とすべり出しよく先行したが、緊張のためか動きが固く、1オールから1－9と引き離され、2ポイントをとったにとどまった。

第二ゲームにはいると、ようやく固さがいくぶんとれ、常に先手をとるようになり、ファイナルゲームかと思わせたが、7－4のリードを守れず、相沢の

逆転に屈した。
井上は、最後まで体全体に力がはいり、サービスも浅く、終始相沢にふり回されてしまった。

▽一回戦

古谷 2 (11−1, 12−10) 0 池田

〔評〕 足の不調を伝えられる池田が精彩を欠くのに対し、古谷はよく走り、よく拾った。
第一ゲームは9−0と圧倒的に古谷のペース、池田はいいところなく1ポイントにとどまった。
第二ゲームも7−0と古谷が簡単に連取の形勢だったが、池田はここで奮起し、8−7と逆転した。しかし、古谷は池田を前後にゆさぶり、池田のバックハンドにクリアを続け、セッティングの末、ストレートで降した。
池田は淡々とプレーを続けていたが、観客の立場としては、もう少し〝燃えて〟ほしいところ。とくに、第二ゲーム逆転した場面では、気力でファイナルゲームにもちこんでほしいところであった。
一方、古谷は、池田にくらべ、小さな体をせいいっぱい伸ばし、コートを縦横に走り回って、丁寧に返球したのがよかった。

▽一回戦

石崎 2 (11−2, 12−9) 0 徳田

〔評〕 次代のエースと目される徳田の登場で、場内は期待にわいた。しかし、徳田は、さきに出場した井上と同様、固さがとれないのか、全体にムダな力がはいり、石崎に振り回されてしまった。一ゲーム目、石崎は徳田の追い上げにあって、9−9のセッティングに持ちこまれたが、落ち着いてボールを処理し、逃げ切った。
第二ゲームになっても、徳田はいいところなく、簡単に敗れ去った。
スタンドまで徳田の息づかいがきこえるほどで、この点は徳田が緊張していたためなのか、あるいは練習不足なのかは不明だが、気になるところである。
フットワークも、いわゆるベタ足で、バックハンドの弱点を石崎にしつように攻められ、ネットへ落とされる、というパターンでくり返し苦しめられていた。

▽準決勝

湯木 2 (11−3, 11−6) 2 相沢

〔評〕 全英チャンピオン湯木は、さすがに落ち着いた試合運びで圧倒した。



期待の新人徳田(右)と井上(左)



試合前のひととき，右から湯木，相沢，池田，石崎，古谷，徳田，井上の各選手

第二ゲーム前半、2－6とリードを許したが、危げなく逆転した。無理のないフォームから多彩なストロークをくりだし、相沢を退けた。

▽準決勝

古　谷　2（12－10　11－7）0　石　崎

〔評〕 もっとも見ごたえのある一戦であった。古谷が走り回って慎重に返球すれば、石崎も闘志を秘めてけんめいに拾う。

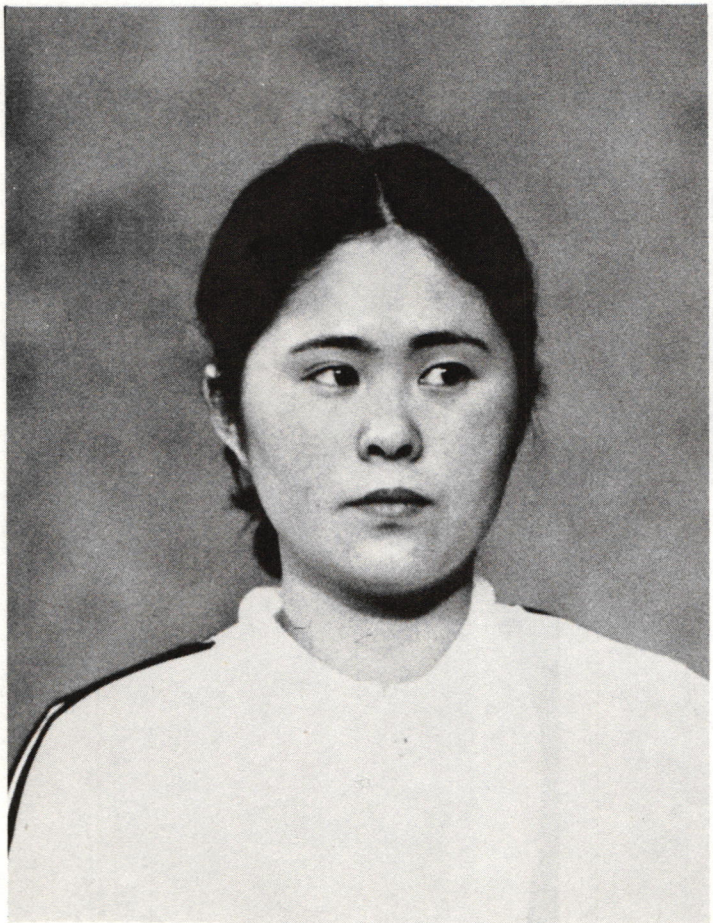
第一ゲーム2－7の劣勢から5－8、8－8と追いつき、セッティングの末、石崎のミスをさそって古谷が先取すると、石崎は第二ゲーム、タイに持ち込もうとよく粘ったが、古谷のコーナーワークがまさった。

▽決勝

湯　木　2（11－2　11－4）0　古　谷

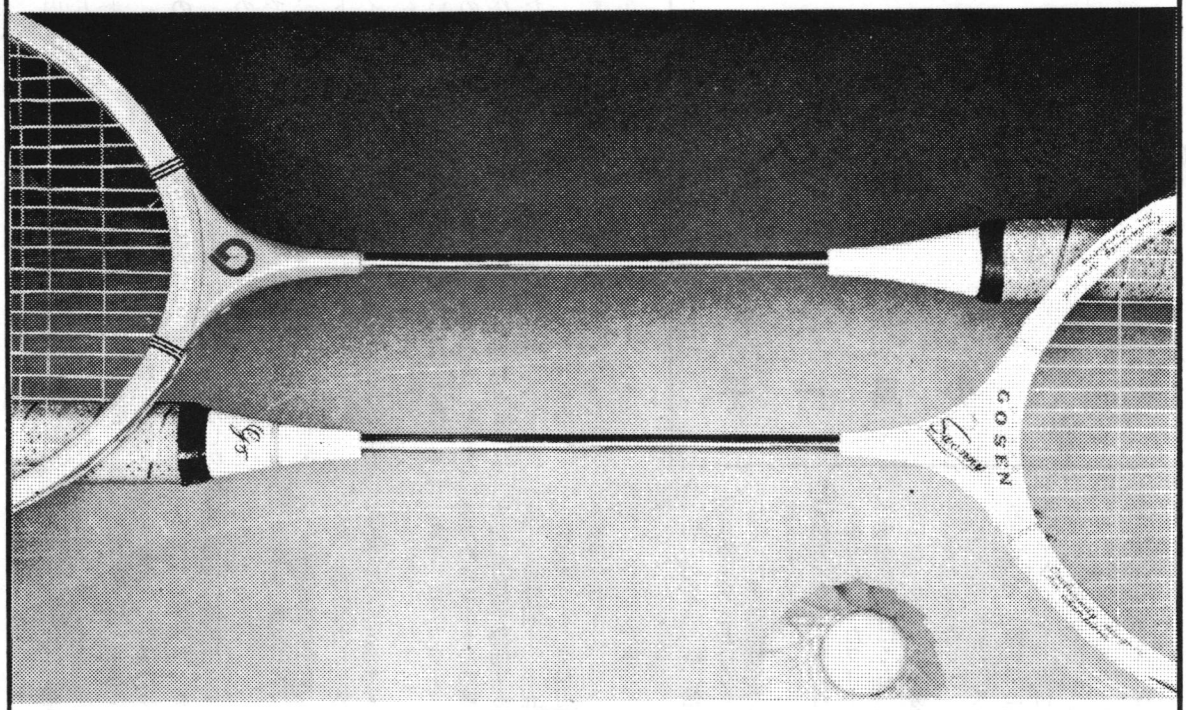
〔評〕 池田、石崎を敗ってよく決勝まで進んだ古谷であったが、湯木には通じなかった。

スロースターターといわれていた湯木も、この一戦では最初から快調にとばし、全く寄せつけなかった。



慎重な配球で決勝へ進出した古谷

精緻。俊敏。この確かな手応え。
ロング・テーパード・シャフト。



LUBIRD & SWANNY

Gosen Badminton Racket



特殊合板の力強いフレームと、
従来のものよりさらに長くなった
クローム・テーパード・シャフトの強靭性
が強力なバイブレーションを生み出します。
ゴーセン・ルバード、スワニーのロング・シャフトコンビ
が逞しいラケットワークを可能にし、世界のバドミントン
界を陵駕し、そのシャープで逞しい手応えを披露します。

●No.B65ゴーセン・ルバード〔フレーム〕……¥3,800
●No.B60スワニー〔フレーム〕・タオルグリップ付…¥3,800

株式会社ゴーセン
本　　社・大阪市東区豊後町4　☎(06)942-5816(代)
東京営業所・東京都台東区鳥越1-26-1　☎(03)862-6576(代)

実戦教室〈第4回〉

ミナをつけるには

小島一平

今回はコート内でのスタミナをつけるための方法などについて書いてみましょう。

(1)コートワークの方法

バドミントンの三原則は、より高く、より前で、より速くということであり、コートワークは、いかにコートの中をより速く動けるかがポイントになってきます。

私の体験からいうと、中・高校時代、フォアの前がどうしても足が出ず、たびたびノータッチをしてしまったことがあります。

気持と上体はすぐにでも、シャトルに飛びつきたいのに、肝心の足が出てくれない。

これを克服するには、あたり前のことですが、屋外のトレーニングにおいて、このことを頭に入れて行なうことです。

スポーツにおいては、たしかに理論も必要ですが、それ以上に、自衛の筋肉に覚え込ませるというか、訓練によって向上させることが望ましい。

そして、自分より実力の上の人は、常に小さく鋭い振りで、同一のフォームから、各種のストロークを打てるため、おのずとフェイント・モーションになっています。

そこで、こういう人を相手にプレーすると足が出ないという状態になってしまうのです。

こういう場合は、相手の打球を予見したにせよ、逆、逆となる場合が多い。幸運にも自分の予見が当たった場合は良いが、はずれた場合、足・腰・腹筋などが弱いと対処できなくなってしまうのです。

だから、好プレイヤーは、強じんな基礎体力をもっているし、また、常に努力し、体力の充実に心がけているのです。

さて、コートワークを速くするためのコートでの練習方法ですが、方法を説明する以前に、まず、短時間——十五秒でも三十秒でも必ず、全精力、全神経を傾けて行なうということを念頭においてください。

前への突込みは、軸足で自分の体重を耐えねばならない。そして、ただちに軸足で蹴り、体勢を立て直す。

後方のシャトルに対して大きく振りかぶったフォームも同様ですが、前方にくらべ、脚力が弱いと、ただちに体勢を立て直すことができない。

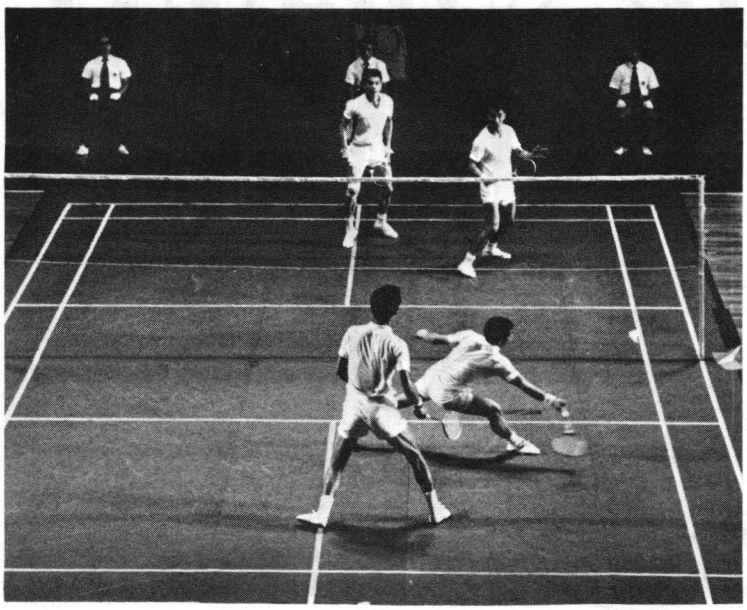
とくに、シングルスは、ホームポジションにいかに速くリターンできるかで、勝利の行方は大きく変わってしまう。

ですから、トップクラスの選手の試合もしくは、練習において、注意して見るとわかると思うが、ホームポジションへのリターンが速く、スムーズに行なわれている。しかし、いくらトップ・プレイヤーでも、バテてくると、間違いなく遅くなってくるものです。

コートの中を速く走れなくなった場合は、ことにネットなどの技術が生きてこなくなってしまい、その意味でも、コートワークの重要性は、非常に大きく、真剣に取り組まなくてはならないものです。

相手は各種のストロークによって、こちらを動かそうとしてくるから、動かされながらも、自分の思うところへ打てるようなコントロールを身につけなくてはなりません。

そのためには、長期間にわたる練習が必要で、とても一朝一



足が反射的に出るようにする（池田選手の場合）

●連載

体当たり

コート内でのスタ

●*Ippei Kojima*

タにできるものではありません。

そこで、コートワークがよくできれば、おのずからシャトルの下に早くはいることができ、一番打ちやすい、十分な体勢からストロークをくりだすことができ、コントロールもしやすくなるのです。

ですから、横着なプレーは絶対に慎しまなければならず、あくまでも基本に忠実に、足を動かし、必ずフォアハンドで打てるシャトルは、フォアハンドで打つように心がけることです。

(2)コート内でのスタミナをつけるには

コートの中を、ただむやみにまるで運動会のように走り回ることは、まったくの無駄で、体力の消耗も激しいものです。

速く、激しく動いて、サービスの瞬間までに呼吸が整うことが望ましいわけで、それにはインターバルトレーニングしかなく、また、それに伴って瞬発力をつけてほしいと思います。

ですから、スタミナとは、やはり、ある年数、徹底的にきたえないことには、簡単には、身につかないものです。

(3)コーチがいない場合の練習方法

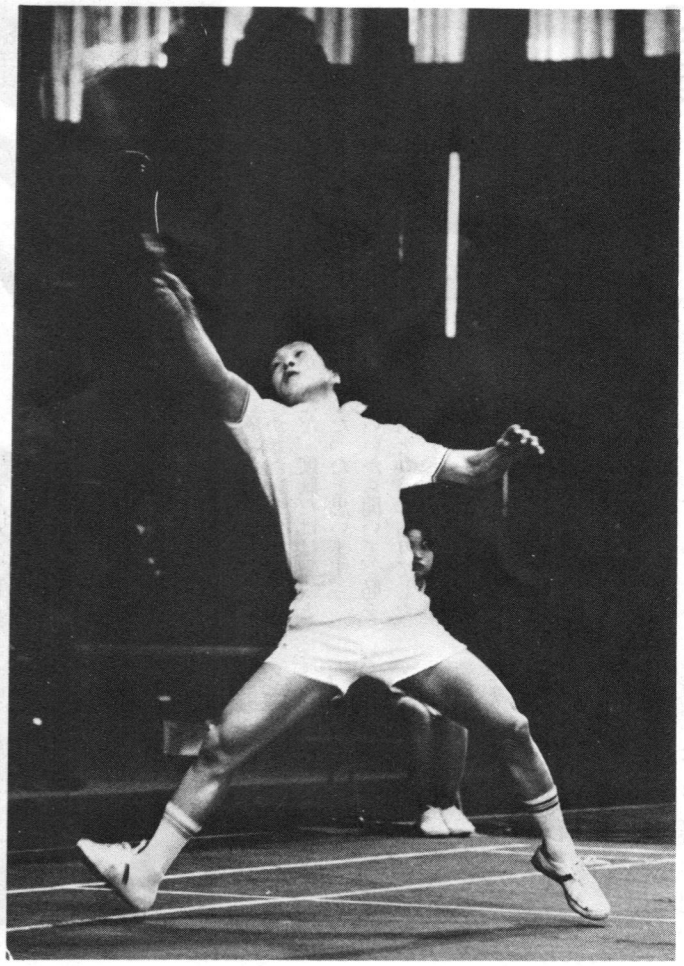
指導してくれるコーチがいない場合には、まず、クラブのキャプテンが、バドミントンに関して、いかに、どうすれば早く上達するかを、常に追求しなければなりません。

一番気をつけなければならないことは、惰性で毎日の練習を消化してしまうことです。要するに、練習の方法などは二の次で、まず、そのクラブ自体が、確固たる目標を定め、それに向かって、全員が一丸となって、達成に努力しているかどうかが最も大切な問題なのです。

そして、個人個人もまた、それぞれの目標をしっかりともっているか。そういう姿勢がなければ、苦しい練習にはもちろん打ち勝つことはできませんし、そのクラスのレベルアップにも時間がかかるばかりです。

そして、おのおのの選手が、いかに集中力をもって取り組んでいるかを、キャプテンは判断し、だらけた時などは、そのつど注意し、自から率先して行ない、常に、きびしい雰囲気の中で真剣に練習に取り組めるかどうかが、大きなポイントです。

練習の方法は、たくさんありますが、それよりも今、述べたように、精神的な面が、どれだけ重要かということを理解してほしいと思います。



●連載

私の歩んできた道

ユ杯から全英へ

初めてユーバー杯を獲得したときのようすは、前回書きましたが、そのあと、自分たちは世界のタイトルをとったのだ、ということが全然ピンとこなかったのです。

そして、ユーバー杯が非常に重いために、飛行機に乗るたびに超過料金をとられてしまい、みんなで、こんな重いものどこかへおいていっちゃおうかしらなんて文句をいったりしたくらいです。

途中は、香港に寄ったりしてのんびりと帰ってきました。まさか、日本ではみんながそんなに大騒ぎして待っていてくれるなんて思ってもみませんでした。

帰国して、ようやくいろいろな人々から祝福され、自分たちでも実感としてわかってきました。

その翌年（一九六七年）になって、初めて全英選手権大会に行かせていただきました。

それまで、全英選手権というのは、小宮好雄さん、堺栄一さん、宮永武司さんしか行っていなかったので、私は、ただ全英選手権というのはすばらしい大会だと聞かされていただけでした。

そして、一九六七年になると、女子も派遣しようということになり、前年の全日本で優勝していた私と、天野博江さんが参加させていただくことになったわけです。

そのときは、堺さんも宮永さんも一緒に行くはずだったので、別に不安はなかったのですが、いざとなってみると、いろいろな事情で、行かれなくなってしまい、結局、私たち二人だけで行くということになってしまいました。

二人だけの遠征

見ず知らずのところへ二人だけで行くわけですから、そのときはもう死にものぐるいでした。何が何だかわからなかったのですが、ただ、度胸だけは……という感じだったと思います。

何でもいいから聞いて、恥をかきながらというつもりでした。それが、まずデンマーク選手権で優勝し、いよいよ全英選手権ということになりました。

そうすると、あのジュディ・ハッシュマンと会うことになったのです。

ジュディはその年に優勝すれば、全英選手権大会で十回目の優勝ということで、ものすごいファイトをもやし、しかも前年のユーバー杯で私に敗れていますから、それは大変なものでした。



ジュディの過去九回の優勝というのは、一九五四、五七、五八、六〇～六四、六六年でした。結婚前はジュティ・デブリンという名前でした。

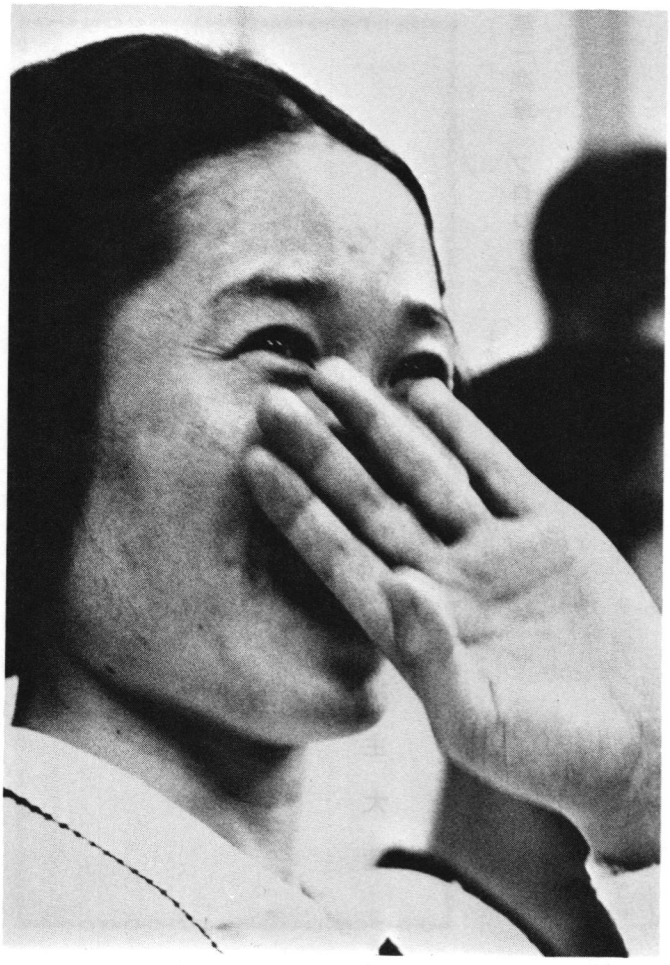
ハローもいわない ジュディ

全英選手権の会場というのは、更衣室がたくさん並んでいて、

〈第二回〉

無念!!全英選手権決勝で敗る

●中山紀子



選手はどこで着がえてもいいのです。

そして、私たちがはいっていた更衣室に、たまたまジュディもはいってきたんです。

ふつう、外人の選手というのは、たとえ、試合の相手だろうと、〝ハロー〟くらいはいうのですが、ジュディはこちらが声をかけても、ひとことも返事をしないんです。

この態度は、もうただすごいというだけで、恐しいほどです。そして、私も頭にきてしまいました。

決勝で対決

試合が進むと、やはり予想どおり決勝で対戦したのです。

まず、第一ゲームをとって、第二ゲームも勝ちそうだったのですが、ジャッジミスがあったりして、せり合いの末、負けてしまいファイナルにもちこまれてしまいました。

痛恨のサーブミス

そして第三ゲーム。

私は10－8でリードし、これはとれるという意識があったのですが、そうして、ロングサービスを大きく打ち上げたら、ほんの少し出てしまったのです。

普通の選手なら、マッチポイントをとられていたら、少しのアウトくさいボールを打ってしまうのですが、ジュディは全英選手権のファイナルゲームのマッチポイントを握られているサービスを選んだのです。

こういったところは、さすがにジュディだと思いました。

そして、ジュディは、私がミスをして動揺しているとみて、やる気を出して、追い上げてきたのです。

ジュディはシングルスをやめて……

私も必死で逃げ切ろうとしたのですが、とうとう追いつかれてしまい、セッティングの末、ジュディに敗れてしまいました。

そのときは、大変なショックでした。

「あのサービスさえ入れておけば……」と、悔やまれてなりませんでした。

ジュディは、十回目の優勝を飾ったあとのパーティーで、

「私はこれで十回の優勝をしたので、もうシングルスはやりません」

といって、本当に二度とシングルスには出場してきませんでした。

落胆をのりこえて

しかし、私としては、この時に負けていたために、何とかして全英選手権のタイトルをとりたいと思いつづけ、その後もプレーをやれたのだと思います。

やはり、この全英選手権のタイトルを逃したということは、非常にくやしかったのですが、逆に、自分にとっては、目標となったのでした。（つづく）

特別寄稿

バドミントンと私

横浜市鶴が峯中学校
バドミントン部顧問
地主大造

第一楽章　プロローグ

昭和四十九年一月二十日。日曜日。時計の針は三時半を回っていた。ここ平塚市見附台体育館の一隅、第三コートでは、前日から行なわれた第一回神奈川県中学生新人大会の女子シングルス（百二十八名参加）の準決勝、川崎市の名門W中№1のY嬢と、本校の№2、N嬢の試合が行なわれていた。第一ゲームは、11－7でY嬢がとり、第二ゲームも10－5でY嬢がリードを保っていた。

昨年宇都宮で行なわれた、第四回全国中学生バドミントン大会神奈川県チーム男女レギュラー計八名のうち七名（残一名が本校生徒）を占めたW中のバドミントン熱はものすごく、観客席で八ミリ撮影機を回す父母たち、コートのすぐ上の連絡通路から盛んな声援を送る一団。大会の気分はいやが上にも盛りあがっている。

シングルスに先立って行なわれた男女ダブルスでも、決勝進出四チームのうち三チームをW中がしめている結果からも、その意気は高い。サービス権の移動を繰り返しながら、一点、一点、N嬢は追いあげていく。三日前の打合せで決った飛ばない陸鳥球での試合。クリアーが甘いと、ビシッと決められる。

あと一点取られれば負けるとの覚悟から出た落着きからか、あと一点で勝てるという無意識の中のほんの僅かのすきま風のなせるわざか、三回のマッチポイントを取られながらもN嬢テン・オールと追いつく。セッティング。表情を変えないY嬢も、この辺から今迄の軽いフットワークが少し乱れてくる。N嬢、遂に七点連取して第二ゲームを物にする。五分間のインターバル。

一方、隣りの第四コートでは本校の№1M嬢と、大和市Y中の№1A嬢の試合が行なわれている。第一ゲームはややミスが多く苦戦して、11－6と取ってはいるが、昨年暮れの練習試合では12－10、12－10と勝っている相手。第二ゲームもリードは保っている。

M嬢は昨秋の横浜市の新人戦では優勝の力の持ち主、どちらか決勝に出られたら幸運、と心に言い聞かせても、市大会ベスト4に入れなかったN嬢の準決勝進出には何とも力が入る。身長Y嬢まさり、攻め方もうまい。手強い相手だ。第三ゲームが始まる。何回か練習を見に来て下さった事もある県協会のT理事のアドバイスの伝言も、どれ位理解できただろうか。

もうここまでくれば、という無欲の気持か、一点、二点とリードする。第四コートの試合も終り、応援生徒はどんどん増える。声援は会場を二分する。N嬢五点連取。Y嬢も一点を返す。朝から数えて六試合目。二人とも、ここまで、2－0、2－0と勝ち進んで来たとは言え、まだ十四才何ヶ月かの少女たちだ。腹も空いただろう、疲れもたまってきたことだろう。あと頼れるのは精神力だけだ。

マッチ・ポイントを取られながら十二点続けてとったN嬢の粘り強さ、激しい動揺を全く顔に表わさず最後まで試合を捨てなかったY嬢の素晴らしさ。11－5で試合を終り、握手する二人に暖かい拍手の波が沸く。観客席を見せる私に祝福を送って下さったのはW中顧問のS先生。私は、この一瞬を忘れる事ができないだろう。

第二楽章　出会い

私が、中学校に入学したのは、八紘一宇の精神が説かれ、大東亜共栄圏という美名の下で一億総動員が叫ばれていた頃でした。アッツ・キスカの玉砕の翌年の、手許に残っている通知簿には、身長一四六センチ、体重三十五キロと、そして、教練・良、体操・良、武道・良、という記録をみても、（そうそう、欠席日数、五十八日）この巨大な圧力の下に喘いでいたデリケートな少年を御想像頂けるものと思うのです。

スポーツに全くと言って良い程、縁の無かった私も、昭和二十九年大学を卒業し、中学校に奉職した頃から、生徒たちや同僚とスポーツに興ずる時が多くなりました。テニス、卓球、バレー、ソフトと半人前に扱かって貰えるようになったのも、昨日のように憶えています。

しかし、どちらかと言えば、三ツ子の魂百まで、のたとえのように、望遠鏡を自作したり、懸賞論文入選で小望遠鏡を獲得したり、当時打ちあげられたソヴィエトの人工衛星、スプートニク一号を県下最初（？）に発見したり、その撮った写真が、東京天文台から私には無断で、「子

供の科学」に載せられたのをバカみたいに喜こんだりしている時間の方がずーっと多かったのでした。

こんな私が、バドミントンと出会ったのは今から七年前の事だったでしょうか、横浜市立I中学校に勤務している時だったのです。三〇代の半ばに達していたのでしょうか、昼休み等、時たまハネツキ（バドミントンではない）をしていた教師たち老幼男女数名を集めて、Y先生が同好会を作ったのです。それから私たちの特訓が始まりました。

生徒のクラブ活動の終ったあとの体育館で、時には七時、八時まで、中年の手習いを初めたのです。生徒の使用しない昼休みにはヘアピンらしからぬヘアピンにも取り組みました。といっても、正しい練習法を書いた本を求めるのでもなく、（当時は殆んど本はありませんでした）やみくもに、半分は遊びのような気持でやっていたのです。

六年前、現任校に移って来ました。ちょうど、バドミントンクラブの顧問が転勤されたあとだったのも私に幸い（？）していました。習い憶えの自信もさることながら、生徒たちの希望にもほだされて、二十二才の青年教師O先生を誘って、顧問の座についたのです。

――このO先生はそれから六年、私の良きパートナーとして、時には私以上に、本校の部を育てていられるのです。

第三楽章　学び

顧問になったとは言え、良い指導者ではありませんでした。人に教える程の知識も持ち合わせず、技術的には基礎がガタガタで、生徒同様の力だったからです。生徒を帰した体育館で、仕事の余暇を見つけては、O先生を相手に練習をしました。

一週間に一回もやったでしょうか、五ゲーム、七ゲームとたて続けに、汗びっしょりになり、時には足もフラフラになる迄やりました。一日の長というものは恐いもの、私がリードする方が多かったのです。あとから聞いた話ですが、O先生は、私のいない時は夜おそくまで、一人で素振りに専念していたとの事でした。

しかし、この頃の事を今思えば、まだ、バドミントンの良さ楽しさ、素晴らしさを知っているとは言えませんでした。

顧問としての二年目。（顧問になった翌年は仕事の都合上私は一年やめ、O先生に全部お任せしたのでした。）横浜市の中学生大会に生徒を引率していきました。八月の太陽は、今はないトタン屋根のかまぼこ型の公園体育館を蒸し焼きにしていました。女子団体の一回戦、私立の名門（この年準優勝の）J中と当ったのです。

本校のエース、O嬢はJ中のS嬢と熱戦を繰り広げました。第一ゲームに三〇分。O嬢。第二ゲームも、もつれて二〇分、S嬢。第三ゲーム、気力遂に体力の差をカバーする事できず、一時間の激斗の末破れ去りました。翌日も生徒を連れて見学にいきました。O嬢がどうして負けたのか、どうしたら勝てるのか、少しでも秘密を知りたかったのです。

勝ち残っていくチームの晴々しさより、私を魅きつけたのは、軽快な足さばき、豪快なクリアーのストローク、ライン上にきれいに落すコントロールの良さ、息の合ったダブルスのチームワーク。初めて見たダブルスのサーブ。今迄の練習、知識の至らなさを見せつけられた私は、近所の知人から8ミリの撮影機を借り、月半ばに行なわれた県大会に出かけて行きました。

当時男子は市大会のほとんどを優勝しているK中が女子は二年連続のL中が、川崎のW中と覇を競っていました。私は、で

特集雑誌・スポーツマガジン　7月号　500円　5月22日発売！

特集 バドミントン

お待ちかね！
バドミントンの特集雑誌が
発売されます！

連続写真
世界のトップ・プレーヤーに学ぶ
ハルトノ、湯仙虎、侯加昌、グナラン、小島一平、湯木博恵、ギルクス、陳玉娘、中山紀子、相沢・竹中、陳・梁

◆第64回全英選手権大会
◆デンマーク・オープン選手権大会
◆第1回日中バドミントン競技大会
◆第3回国際バドミントン競技大会
◆第1回関東家庭婦人クラブ対抗トーナメント大会

体力づくりとバドミントン／バドミントン用語ミニ事典など、競技と技術を収録した楽しい“バドミントン”雑誌です！

ベースボール・マガジン社

きるだけ一つ一つの基本動作を撮影することから始めました。少し残したフィルムには、八月後半の二年生の練習もとりました。そして教材にしました。私たち顧問と、生徒たちとの。

このフィルムは、他の多くのフィルム、写真と共に、現在でも部員の学習に役立てていますし、私の一つのモニュメントでもあるのです。

翌、四十六年の正月には、女子チャンピオンズトーナメントには生徒と一緒に、四十七年のユーバー杯、トーマス杯にそして昨年の日中大会には、片手には8ミリ、片手には200ミリの望遠というイデタチで出掛けていきました。六ツ切り位に自分で伸ばした、ジャンピングスマッシュの侯加昌や、天女のように柔軟な陳玉娘の写真を、練習会の優勝者に贈るのは楽しみの一つです。

私とバドミントンとのふれあいの中で、多くの素晴しいゲームを直接見る事ができた、という喜こびの他に、もう一つの恵まれた事、それは、中学生時代からバドミントンに打ち込み、現在でも一線で活躍され、後進の育成に大きな期待を持たれている多くの方々にお会いでき、又何回となく本校に御出でいただき又、他の会場で指導を受ける事ができたことです。

四十七年の暮、本校で行なった旭区にある三校と他区の一校を加えて行なった合同練習会には、市中体連のK先生、全日本で活躍されているT高のS先生夫妻、市役所のMさんと丸一日、模範試合をはじめ、手とり足とりの基本練習、翌一月十五日の第二回には、T・H工場の県協会、技術力向上委員のTさん、——Tさんにはその後何回も来て頂だく事ができたのは幸せでした——から習った下半身の練習は、その後の本校の基本になったのでした。

これらの方々の他、日バのYさん、県スポーツ賞を受けられたMさん、更に、全日本チャンピオンのKさん等々と多くの方々をあげることができ、その時、その時の生徒の、そして参観された父母の方々の喜こび感激が私を大きく包み、私のいたらないバドミントンを支えてくれたのでした。

第四楽章　エピローグならぬエピローグ

僅か七年の私とバドミントンとのふれあいの中で、感じたいくつかの問題を頭りあげてみたいと思います。

今、中学校のクラブ活動（時間割に組まれたクラブと区別して部活動と呼ばれています）は、一つの過渡期に来ていると言われています。それは、殆んど全員の生徒が活動に参加し、生徒会組織に組入れられていた形から、運動方面で言えば、より一層身体を鍛え、より一層技術（技能）を追求する、希望者だけの参加の、活動費は殆んど全額受益者負担という形に変ってきています。

四十八年夏の全国大会のF県チーム等は、町の公民館で活動しているクラブ選手が主力だったことを見ても、この部活動は社会教育、（社会教育）への道をたどっていると言えるでしょう。本校の部活動も、その線に沿い、父母の協力が大きな力となっています。

しかし、学校によっては、バドミントンの経験に乏しく、生徒の希望が挺子となって顧問を引き受けている方が多いのではないでしょうか。そういう善意の先生たちに、正しい知識を、技術習得法を伝える事を、国、県、等の協会に期得するのはいけないのでしょうか。

どこのスポーツ店に行っても、あの百円のルールブックが置いてあるとか、春、秋二回位は、地域単位の、ある程度長期の講習会を持つとか、小・中学校のP・T・A活動にPRのパンフを配り、児童生徒も其に参加できるような形でエキジビションをするとか、いろいろあるのではないでしょうか。

Z市では協会が中心となり、週一回市民誰でも親しみ、地区毎の対抗戦もあるとか聞いております。本校でも、年二回、親子大会を開き理解を得る様父母が中心となって進めています。週休二日制になりつゝある社会情勢、そこからくる余暇の利用、日の丸主義の反省からくる底辺の拡大、そこから生れる小中学生への普及は大切ではないでしょうか。

昨年の春、本校のクラブのO・Bたち、高校生、大学生、勤学青年、約十数名が愛好会を作りました。そこでぶつかったのが会場の問題でした。本校は一般開放校になっていますが、一般人が利用できる昼間は部活動の生徒でフル回転です。空いている夜は一般開放校の対象外です。夜間も借用できる特別開放校に本校をするにはどうしたら良いか、区の体育協会に問い合せしました。

現在本市には、特別開放校は区に一—二校しかありません。協会から得られた返事は、開放校についての権限は体育協会になく、各町内にいるスポーツ指導員にあるという事なのです。二百万都市に公営の体育館は僅か二つ、これが文化国家といえるでしょうか。住居から三〇分位の所に、バドミントンコートなら四面、バレー・バスケのコートなら二面を持つ公営体育館誰でも気軽に利用できるスポーツ施設の存在これは単に夢に終らせて良いのでしょうか。

もう一つの悩み、それはシャトルです。横浜の中学生は数年前から、合成球（主にカールトン）に陸鳥を試合球として使ってきましたが、最近の値上りはどうでしょう。受益者負担の私たちにはこのインフレは何とも痛いのです。ハネを打つ時間を全練習時間の1/3から1/4に押えても四十八年度は合成球約五〇打、水陸鳥球約二〇打、計七〇打は消費します。アジア卓球大会の中国選手が日本の高物価に驚嘆(?)していましたが、同じインフレの英国からの輸入は余り望めないにしても、中国の安いハネは輸入できないものでしょうか。又、合成球にしても、もっと丈夫なものが国産できないのでしょうか、冬の体育館でクリマー一発打つと粉雪の降るようにパラパラ落ちこぼれるシャトル、四、四分で一ケ二〇〇円が露と消えるのにはお手あげです。

特集

●第五回全日本女子チャンピオンズトーナメント

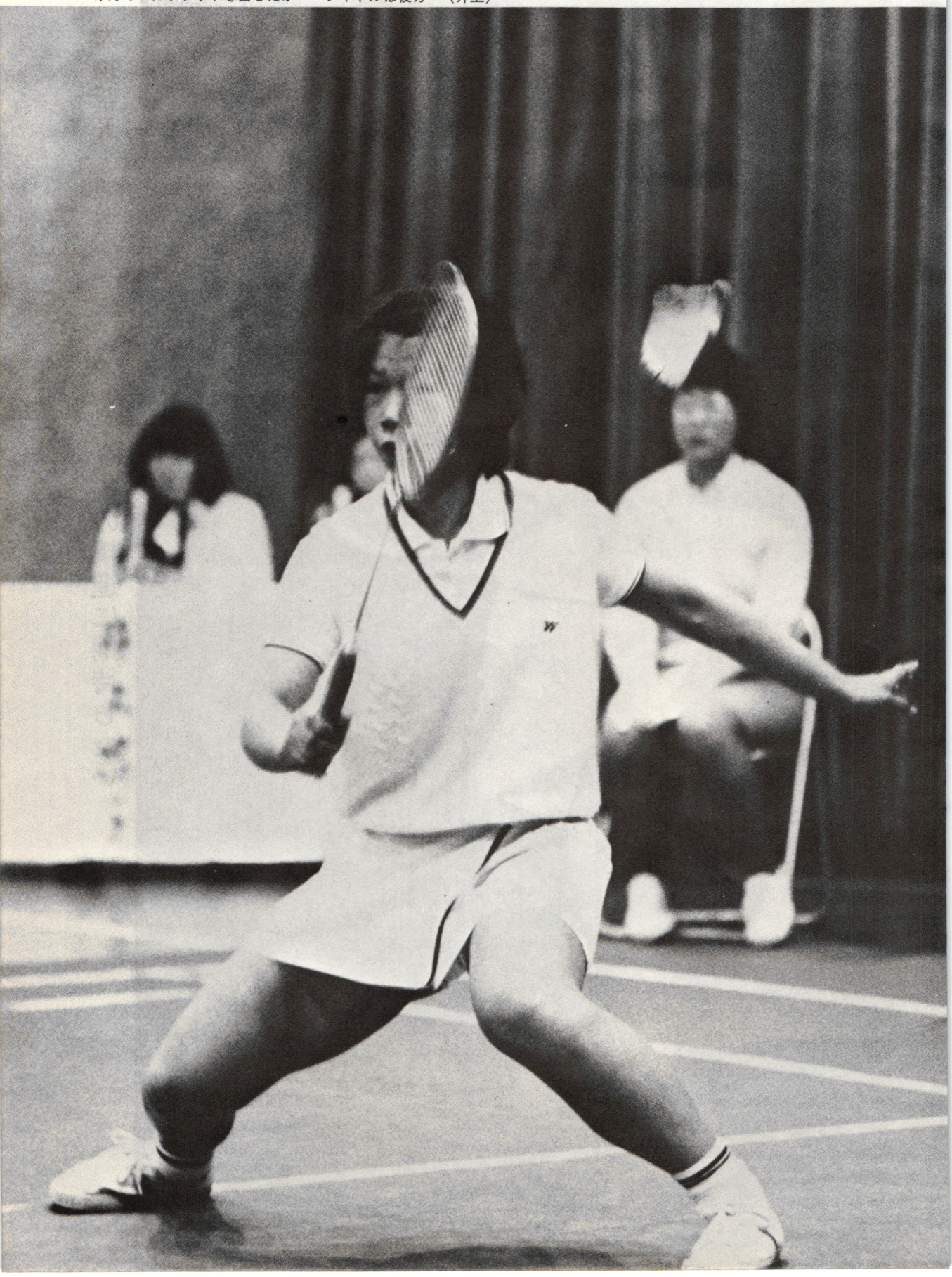
全英チャンピオン湯木博恵，圧勝で底力をみせる

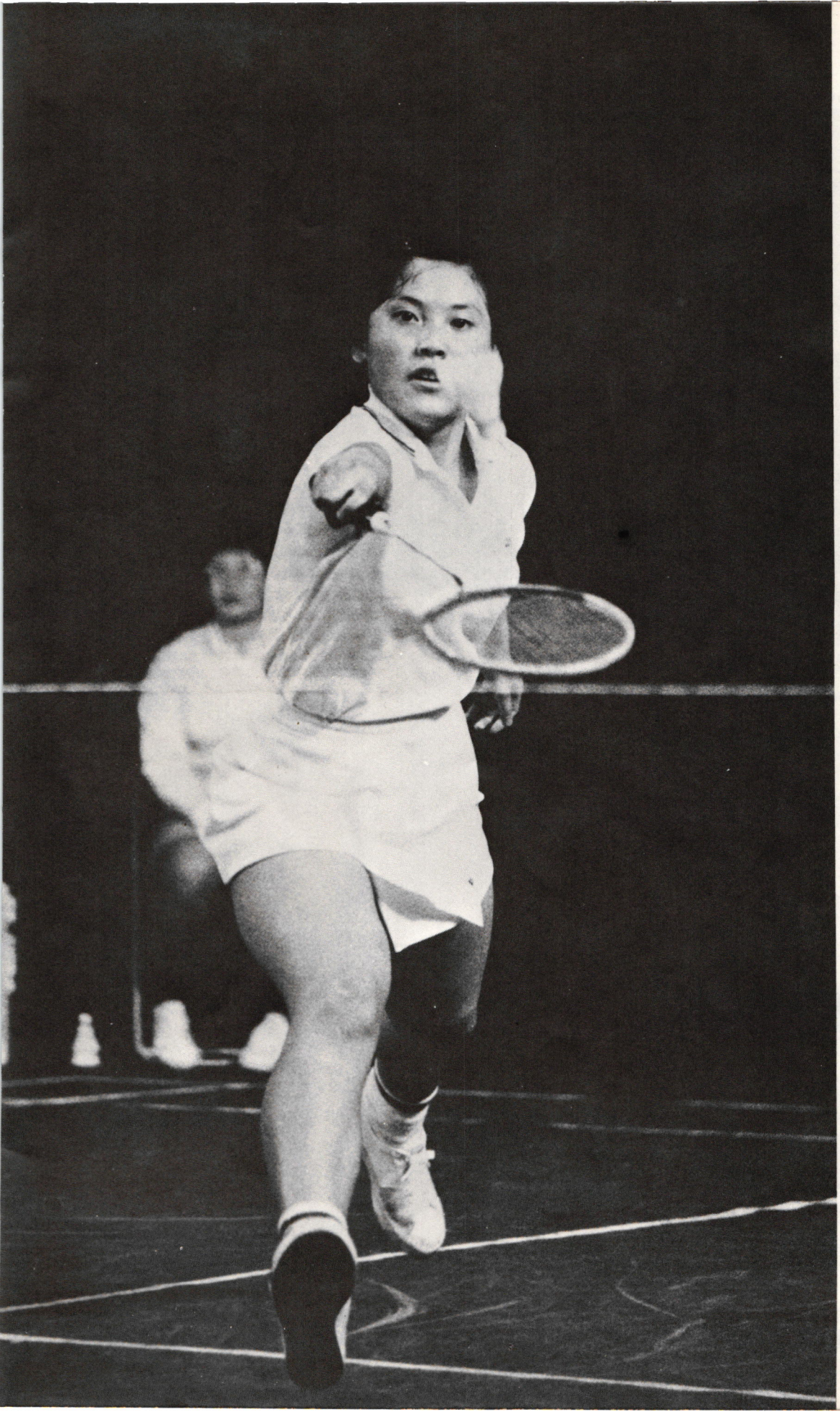


健闘する新人・井上昌子

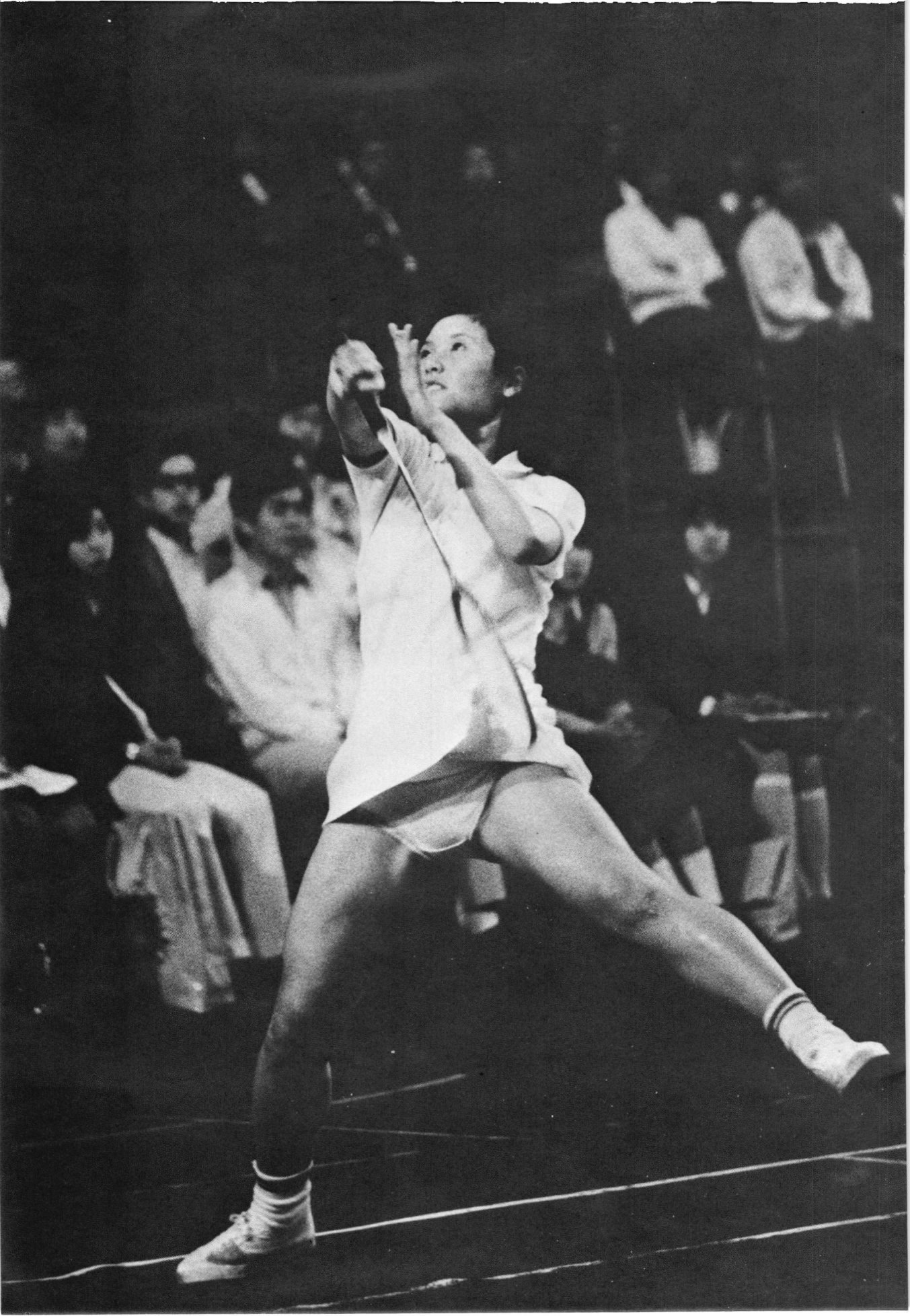


けんめいにラケットを出したが……シャトルは後方へ（井上）



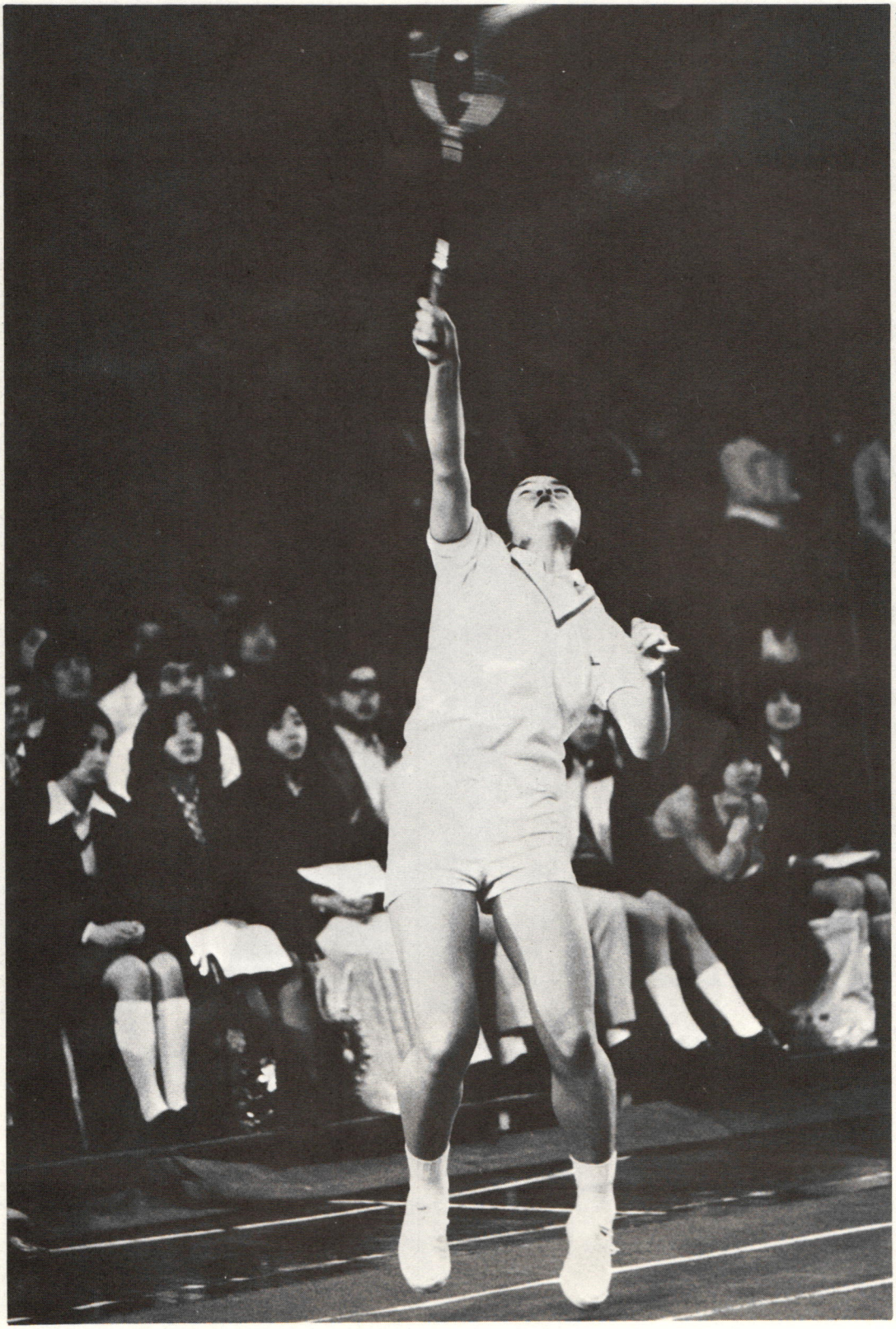


大物新人・徳田敦子惜敗——今後の精進に期待したい





実力を出し切れず……池田美加



長身を生かして攻めたが……

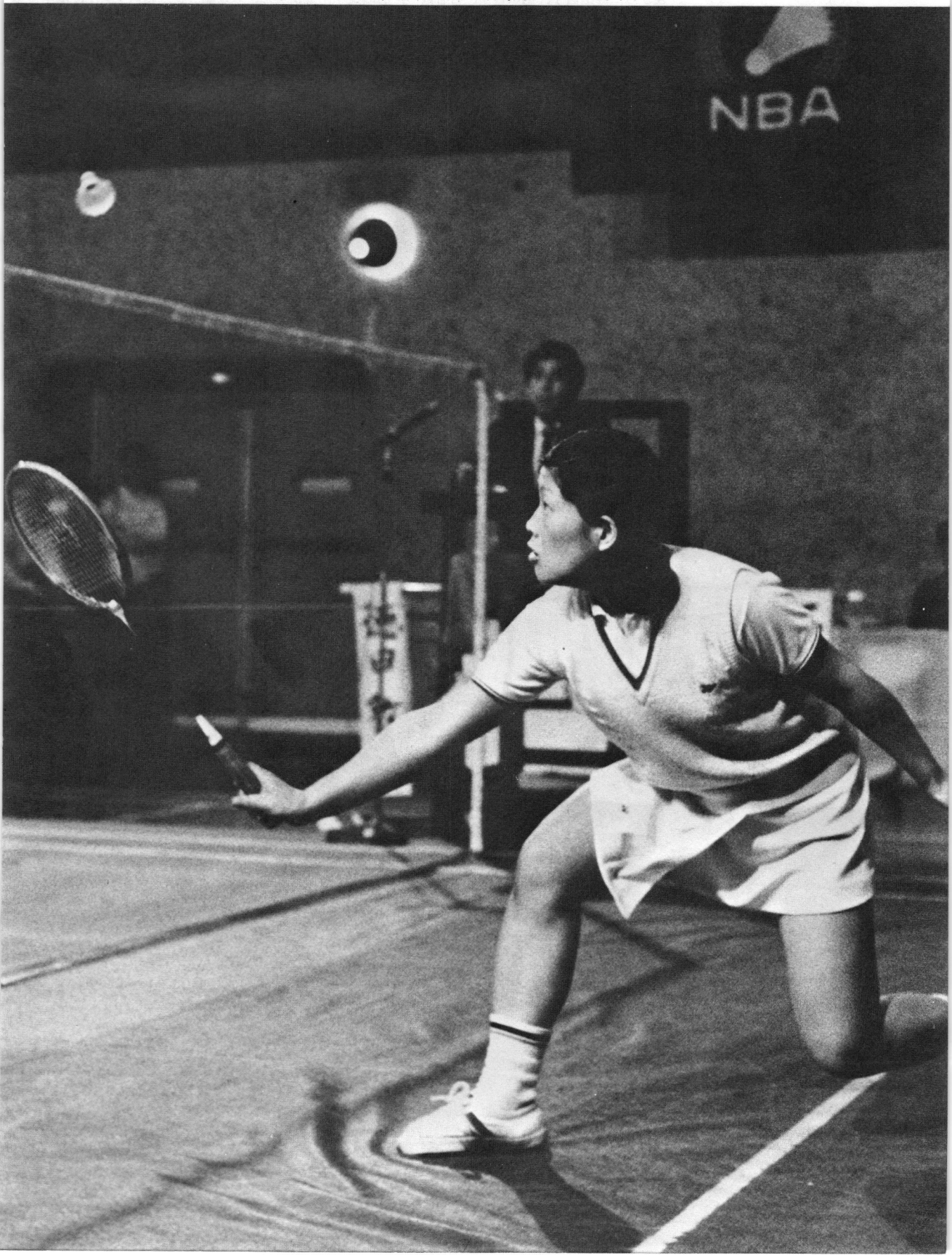
ユーバー杯防衛はわれわれで



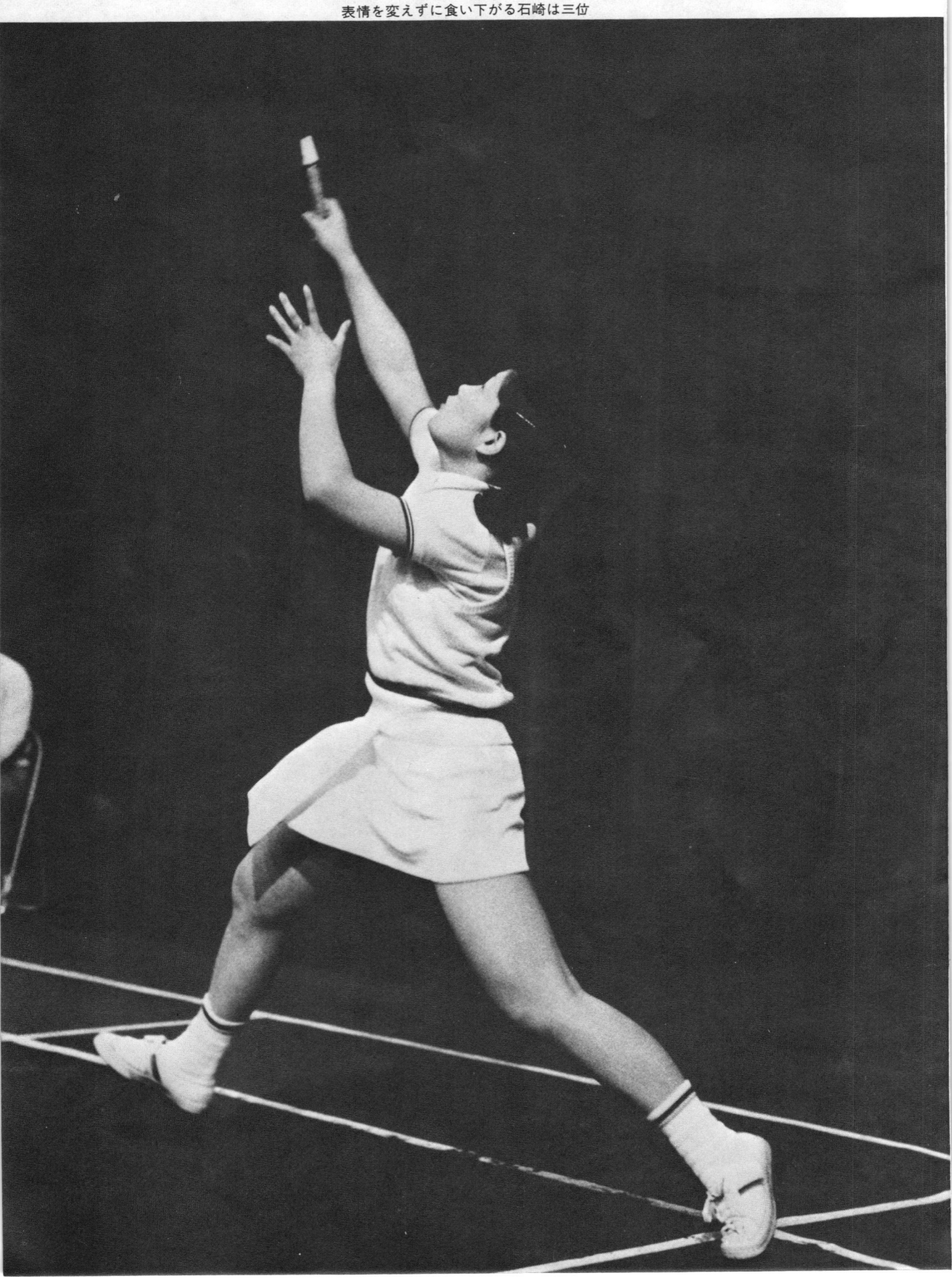
左から，井上昌子，徳田敦子，古谷成子，石崎茂子，池田美加，森友副会長，相沢マチ子，湯木博恵

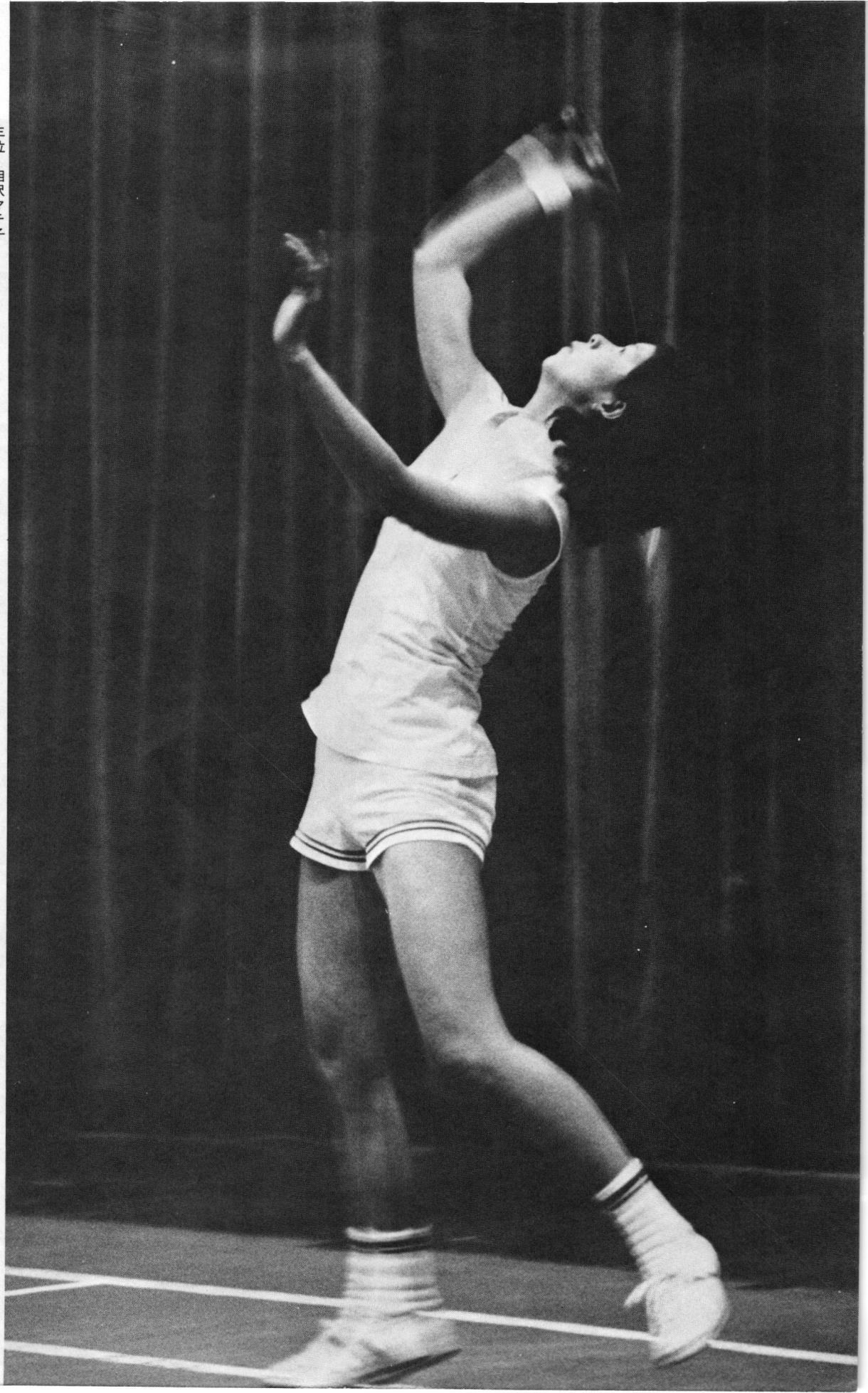


走り，拾いまくった石崎茂子のクロスネット



表情を変えずに食い下がる石崎は三位

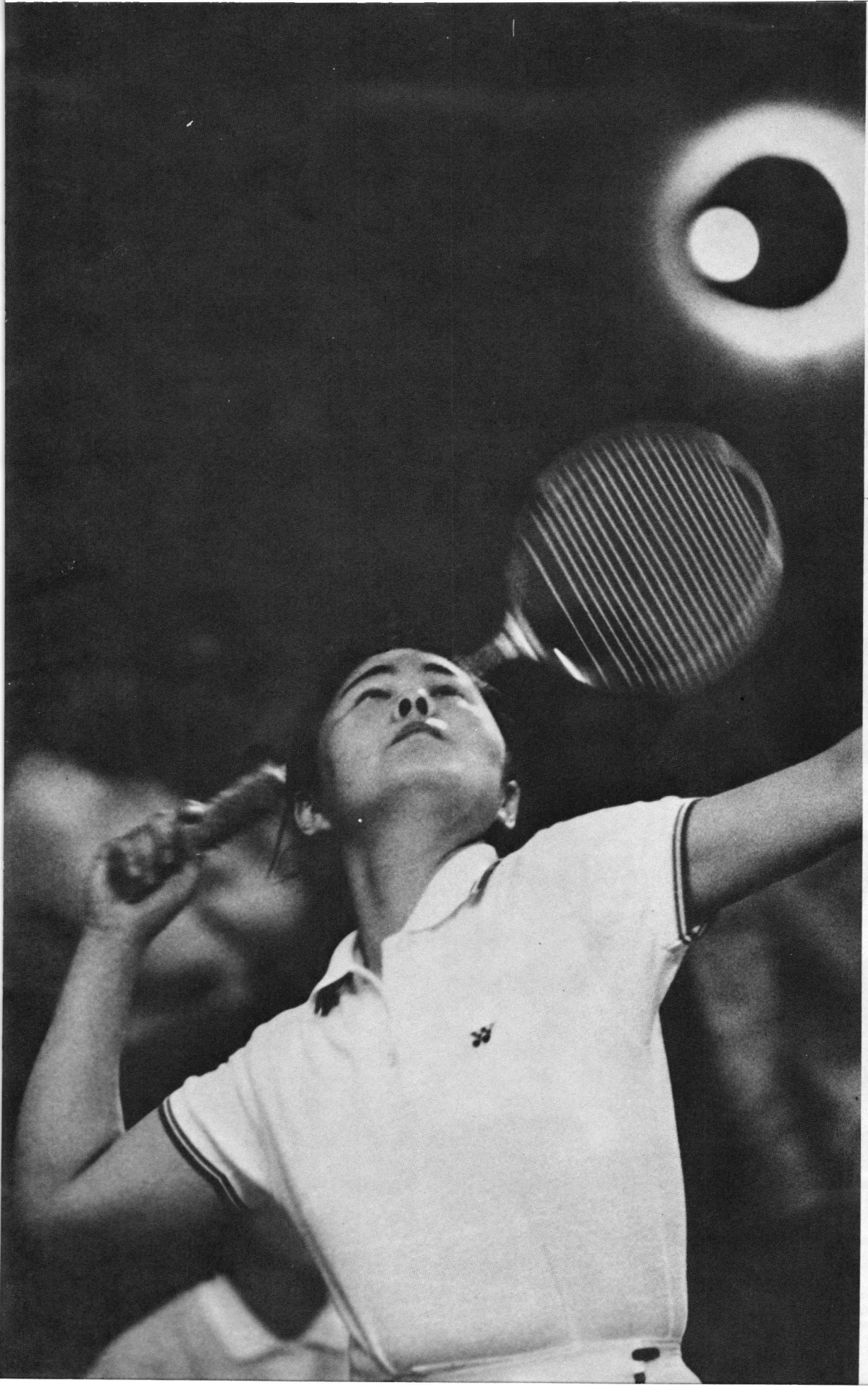




三位・相沢マチ子



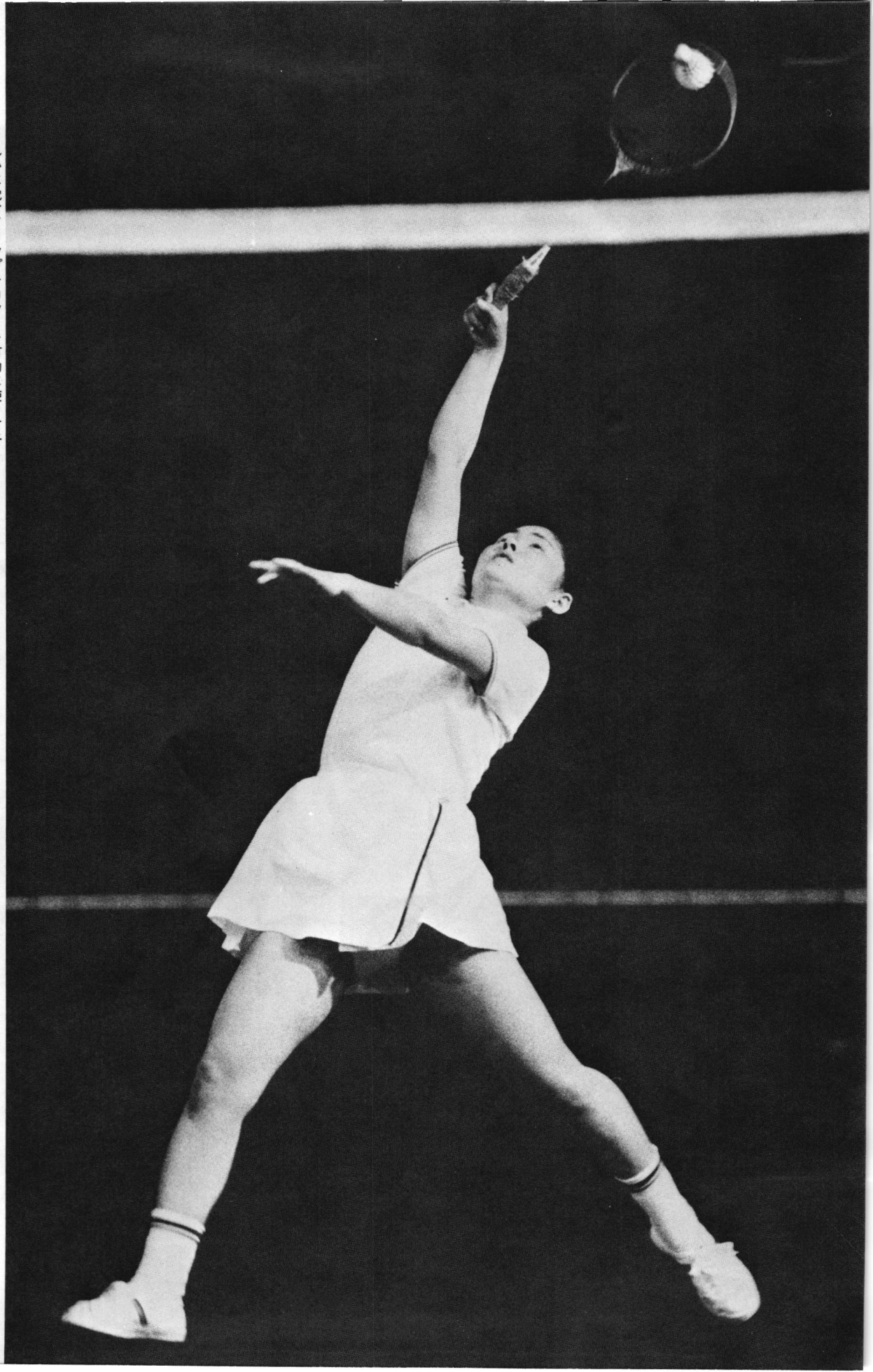
シングルスでも頑張ってほしい相沢のバックハンド



準優勝・古谷成子

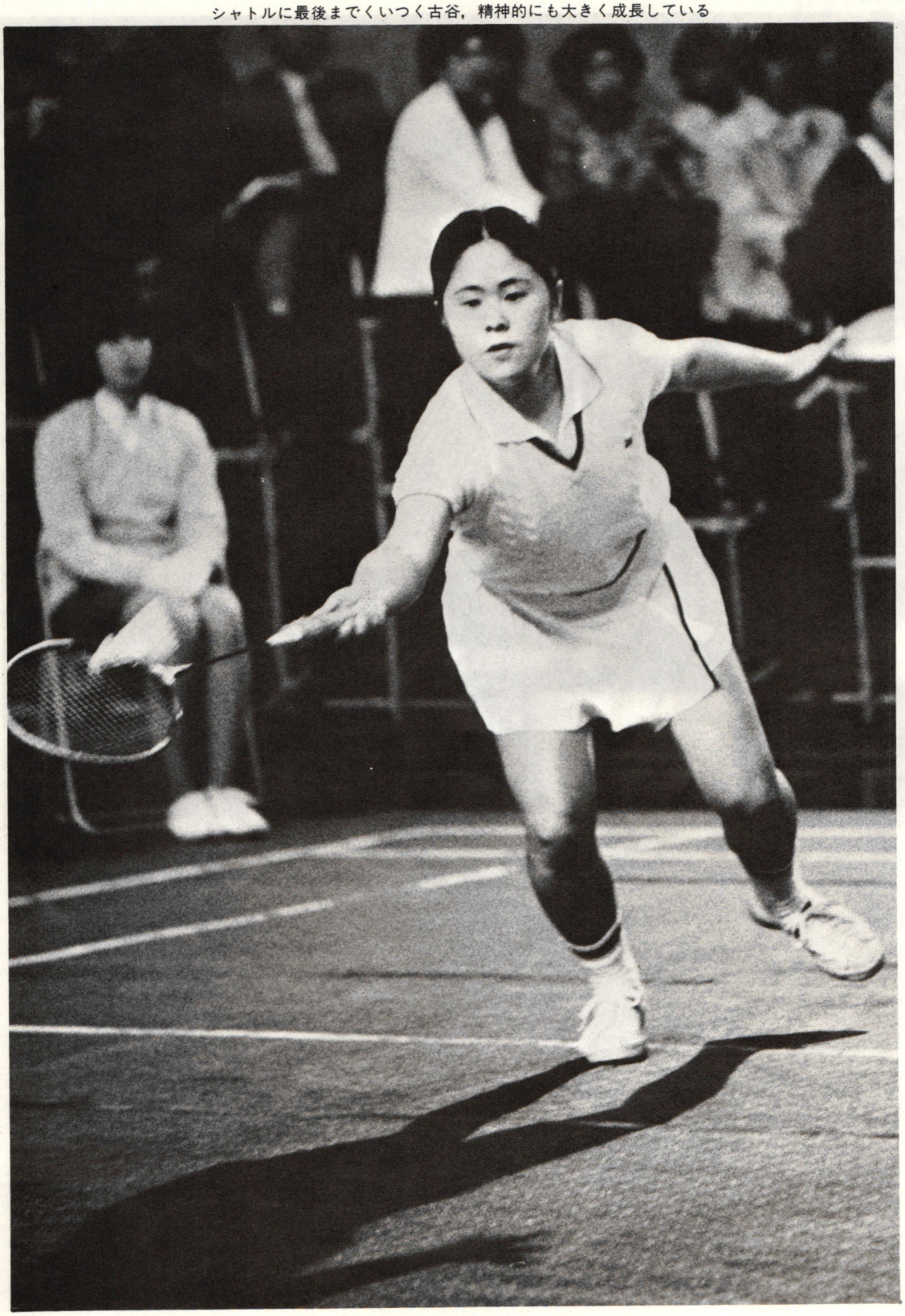
小柄な体を縦横に運び，時折，鋭いスマッシュもみせる古谷



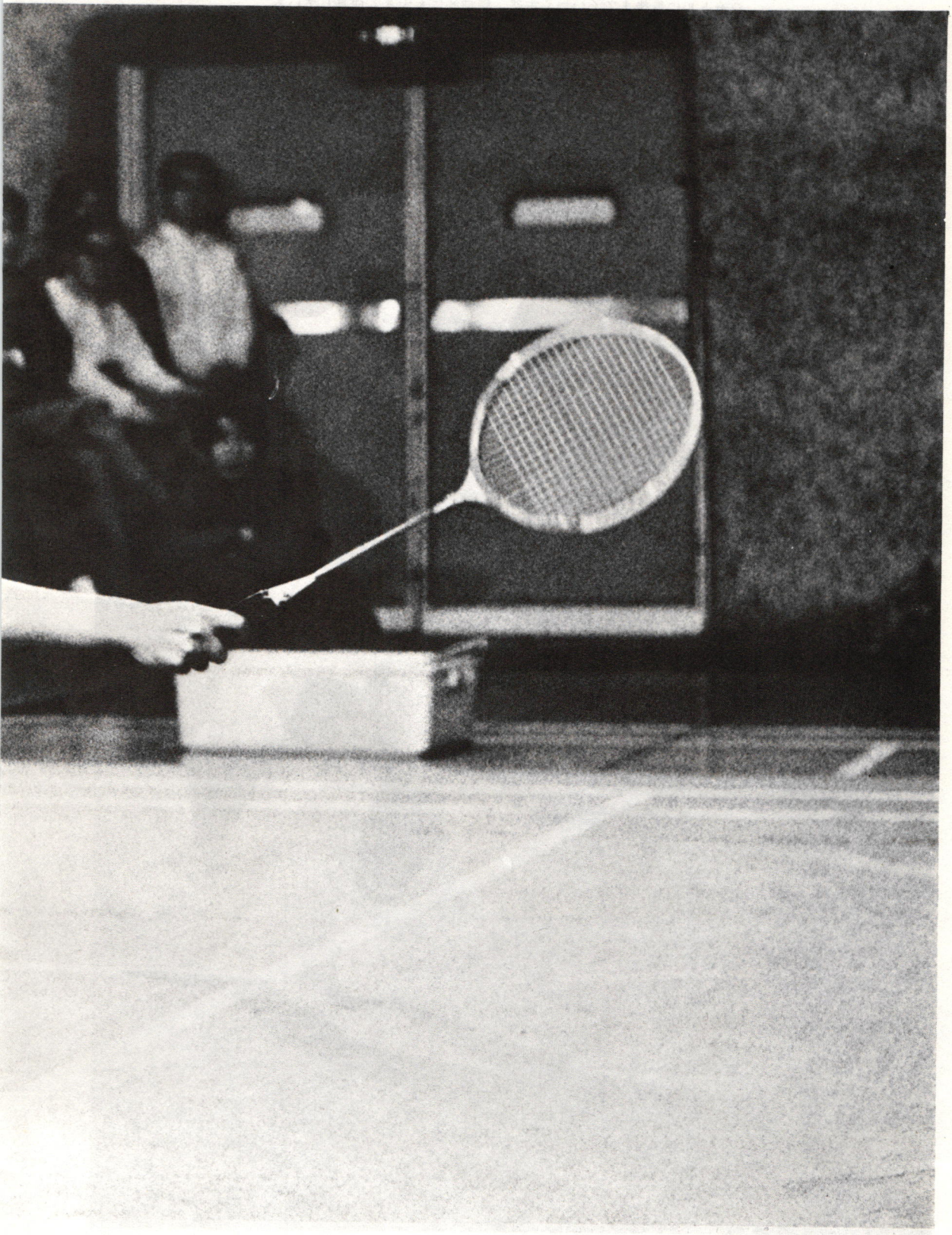


きれいに沈むドロップショットを有効に使う古谷

シャトルに最後までくいつく古谷，精神的にも大きく成長している



徳田の安定したリターン





優勝はやはり湯木の手に



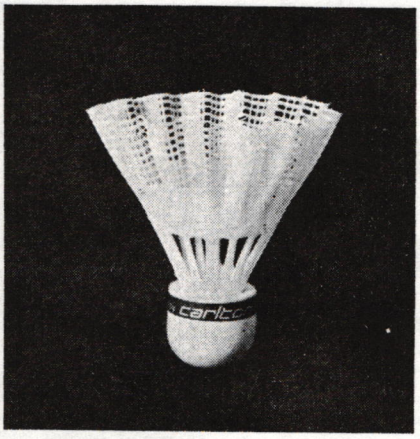
湯木に続け，井上，徳田，古谷の新人たち（左から）



カアルトン ニュートーナメント は水鳥？

ナイロンを感じさせないナイロン。

新開発された、カアルトン〝ニュートーナメント〟シャトルは、ナイロンと云うよりも英国製高級水鳥シャトルに最も類似した性能を備えた、新しいシャトルです。



ニュートーナメントの特徴

●打球音が変った●ラケットから離れる感じが変った●ネットでのターンノーバ（回転）が変った●スピン●シャトルに対する視覚度（よく見える）がよくなった●飛翔のときの一貫した安定性が増加された。

メトロレジャー株式会社

東京都千代田区外神田5-6-4 TEL. 833-3661（代）

□すべての愛好者にバド界を

バドミントンを愛し、プレーし、そして観戦する人たちに、「バドミントン界」という機関誌があることをお知らせし、本誌を購読することによって、バドミントンの楽しさをさらに大きなものにしたいと思います。

現在、わが国にはバドミントンの愛好者が三〇〇万人いるといわれています。

しかし、本誌の読者はまだまだわずかです。バドミントンの愛好者が本誌を通じて友情を深め、技術を向上させ、知識をもっと深くしていくことが、本誌「バドミントン界」の目的です。

□バド界を知らない人々に

バドミントンの愛好者が三〇〇万人もいるのに、本誌のことを知っている人はわずかです。

残念ながら、バド界はまだまだ力が弱いのです。

そこで現在、すでに本誌を購読してくださっている読者の方方の力をお借りしたいのです。

あなたの知人や友人、先輩や後輩をご紹介ください。一人の読者が一人をご紹介してくだされば、愛読者の輪はさらに広がっていきます。

□ご紹介の方法は

ご紹介の方法は、ハガキに、新しく「バド界」をおすすめしたい方のお名前と住所を書いて、「バド界編集部」あてにお送りください。このとき、あなたのお名前と住所も忘れずに記入してください。

この「紹介ハガキ」が編集部に届きますと、あなたが紹介された方に、あなたからのご紹介であることを書いて〝ご購読のすすめ〟と「バド界」のバックナンバーの中から見本誌を一部お送りします。

□ご紹介の方には記念品を

あなたの紹介された方が、本誌のご購読を申し込まれますと、一名ごとに編集部で用意した記念品を、紹介者にお送りいたします。ガット、ソックス、タオルなどを用意しておりますので、その際には、こちらからもう一度ご案内いたします。

□まず第一歩を

このお願いは、まず、バドミントン愛好者に「バド界」という機関誌が発行されている、ということをお知らせするのが目的ですので、購読のお申し込の有無にかかわらず、見本誌をお送りするのは意義のあることだと思います。

どうぞ、一名でも多くの知人、友人、先輩、後輩の方々をご紹介くださるようお願いいたします。

□ハガキのあて先は

ハガキのあて先は、

〒150 東京都渋谷区神南一ノ一ノ一・岸記念体育会館内・日本バドミントン協会・バド界編集部、です。

◆ようやく正常ペースに

長い間、本誌「バドミントン界」は、刊行のペースが遅れ気味で、読者の皆様にはご迷惑をおかけしてきました。

しかし、各県協会の方々、読者の方々の積極的な投稿、第一線プレーヤーのご協力によって、ようやく本号より正常なペースで刊行していけることになりました。

◆秋までには増大号を

この遅れていたペースを元に戻すため、減ページの号も刊行しなければならないこともありました。

そこで、読者の方々には、秋までに、特別増大号（増ページ号）を刊行し、お届けいたします。現在のところ、まだいつ刊行するかは未定ですが、決定しだいご案内いたします。

◆読者サービスの充実を

読者の方々から〝年間予約による定期購読をしているのだから、何か特典なり、サービスなりを考えてほしい〟というご意見を沢山いただいております。

そこで、とりあえず、投稿してくださった方々には、本誌誌上で発表の際に必ず記念品をお送りいたします。

また、アンケートなどにご協力いただいた方々には抽せんで記念品をお送りするようにいたします。

年間購読料金も、二年以上の長期間にわたる場合は、特別料金を考えておりますので、お問合せください。

◆本誌合本ファイルのご利用を

「バドミントン界」は、読みすての雑誌ではありません。貴重な資料として、また記録、読物として長い間保存していただきたいものです。

そこで、すでにご案内いたしましたとおり、合本ファイルの予約申込みを受けつけております。

穴をあけず、ノリも不要で、一年間十二冊をきちんとピッタリファイルできるものです。

定価は未定ですが、五〇〇円前後になる予定です。

ご希望の方は、必ず往復ハガキで編集部へお申し込みください。代金は後ほどでけっこうです。

◆再びアンケートのお願い

本誌50号で実施したアンケートに対し、多くの方々からご協力いただきましたが、第二回のアンケートを行ないます。ふるってご協力ください。

アンケート

❶自分専用のラケットを（もっている、もっていない）

❷ラケットをもっている人は何本か（1本、2本、3本、4本以上）

❸ラケットの重さは（軽い＝115グラム以下、中くらい＝116～125グラム、重い＝126グラム以上）

❹ガットは（ナイロンなどの合成、本シープ）

❺ラケットのフレームは（ウッド＝木製、スチール＝金属製）

❻現在使用しているラケットの値段（　　円）

❼一般的にいってラケットの値段は（高い、安い、ちょうどいい）と思う。

★以上の❶から❼までを、ハガキに書いて、住所・氏名・年令・職業（学校名）を名記のうえ、バド界編集部へお送りください。抽せんで20名の方に記念品をお送りいたします。

読者と編集者

■写真撮影について

バドミントンは体育館内の暗い、悪条件の中で撮影しなければなりません。

ところが「バド界」には、いつもすばらしい写真が載っています。いったいどんな方法で、どんなカメラを使っているのか教えて下さい。

（横浜市鶴見区　鈴木洋史）

★バドミントンにかぎらず、室内体育館の暗さがいちばんの悩みのタネです。

しかし、最近はテレビ放送がしばしばあり、照明で体育館を明るくするので、いくぶん写しやすいと思います。

ご質問の件ですが、私の体験からお話ししますと、カメラはレンズ交換ができるもので、一〇〇ミリ前後、明るさはF2・8のレンズがいちばん使いやすいと思います。

次にフィルムですが、フジ、サクラからSSS＝ASA200、コダックからトライX＝ASA400が市販されていますが、私は、トライXを室内撮影に用いています。

明かるい体育館の場合には、トライX＝ASA400でも撮影できますが、どうしてもフィルム感度をASA800～1200～1600と増感しなくては写りません。

町のDP店では、ひと絞り増感が限度で、それ以上はやってくれないと思いますので、自分で現像しなくてはなりません。

増感現像剤には、フジパンドール、小西六のコニドールスーパー、マクファインと市販されていますが、気をつけて現像しないと、フィルムにカブリができ、どうにもならないネガになってしまいます。

こうしたらうまくできる、というものはありません。自分で研究して撮影したら、きっと楽しい写真ができると思います。

（スポーツカメラマン・山田真市）

■来年の国際大会は

今年の第三回国際競技大会は非常に楽しく、男子の参加は内容をずっと面白くしました。

来年はどんなメンバーが来日するのか教えてください。

（神戸市　山内善憲）

★来年の計画については、現在準備中ですが、次号で、詳しい予定を、企画担当者にインタビューいたします。

■第一線プレーヤーの用具を

私は、高校にはいって初めてラケットを握った者ですが、どんな用具を使っていいかわかりません。

現在のトッププレーヤーはどんなラケットやガットを使っているか教えていただけませんか。

（大宮市　佐藤延夫）

★ラケットにかぎらず、どんな用具を使っているかは大変興味あることです。

第一線プレーヤーがどんなものを使っているかを知ることによって、自分にも応用できるでしょう。

体格、性別、プレーの内容によってもずいぶん違ってくると思います。

第一線のプレーヤーにぜひこの点は協力していただくつもりですので、しばらくお待ちください。

ただ、アマチュア規定がありますので、ラケットや用具のメーカーや商品名を公表することはできませんので、あらかじめご了承ください。

水鳥　検定合格球

ファストゴールド

ファストシルバー





ファスト印シャトル
コック　製造発売元

有限会社　ジャワ商会

山形市六日町7の28
電話0236(33)0333(代表)

昭和49年度日本バドミントン協会検定審査用具一覧表

銘柄名		価格	会社名
シャトル（水鳥）の部			
エリート・デラックス	1打	¥ 3,500	河崎ラケット工業㈱
エリート・トップ	〃	¥ 2,900	〃
エリート・エース	〃	¥ 2,700	〃
ハイレッド	〃	¥ 2,400	株式会社 三和
No.195ゴールド・デラックス	〃	¥ 3,400	株式会社 ゴーセン
No.200ゴールド	〃	¥ 2,900	〃
No.210シルバー	〃	¥ 2,600	〃
ファスト・ゴールド	〃	¥ 2,800	有限会社ジャワ商会
ファスト・シルバーE 7	〃	¥ 2,600	〃
ファスト・グリン	〃	¥ 2,400	〃
トーナメント・デラックス	〃	¥ 3,500	ヨネックス
トーナメント	〃	¥ 2,900	〃
トーナメント・ホワイト	〃	¥ 3,000	㈱トヨダスポーツ
トーナメント・ブルー	〃	¥ 2,700	〃
トーナメント・ブラック	〃	¥ 2,500	〃
ハタチ・ビクトリー	〃	¥ 3,000	羽立工業株式会社
サンバタ・スター	〃	¥ 3,500	株式会社諸江製作所
サンバタ・キング	〃	¥ 2,900	〃
サンバタ・クィーン	〃	¥ 2,700	〃
陸鳥の部			
検定球	1打	¥ 1,600	ヨネックス
サンバタ	〃	¥ 1,600	株式会社諸江製作所
サンバタB	〃	¥ 1,600	〃
合成シャトルの部			
カワサキリーブ	1打	¥ 2,700	河崎ラケット工業㈱
メイビス	1個	¥ 200	ヨネックス
ハタチハネエース	1打	¥ 2,700	羽立工業株式会社
ナッシュ	1個	¥ 160	株式会社諸江製作所
ラケットの部			
B－65ゴーセンルバード		¥ 4,500	株式会社 ゴーセン
B－60スワニー		¥ 4,500	〃
B－55エクセレント		¥ 4,200	〃
B－40ファイアレス		¥ 3,000	〃
No.B－73Fオールマン		¥ 4,500	河崎ラケット工業㈱
No.B－69Fブルーリース		¥ 4,000	〃
No.1200Fスタミナ・デラックス		¥ 3,500	〃
No.1000Fスタミナ		¥ 3,000	〃
No.201Fウイニング・コース		¥ 2,000	〃
No.204ファインストローク（張り上り）		¥ 1,800	〃
No.206エバーウイン （ 〃 ）		¥ 1,600	〃
No.210ハード・ショット（ 〃 ）		¥ 1,300	〃
No.9100スリム・ステンレス		¥ 5,300	ヨネックス
No.9000ハイ・ステンレス		¥ 4,800	〃
No.8100ブラッキー		¥ 5,500	〃
No.8000アルミナ・ハイパワー		¥ 5,000	〃
No.7000アルミナ・エース		¥ 5,000	〃
No.6500トップエース		¥ 4,300	〃
No.6000ファイブ・エース・デラックス		¥ 4,500	〃
No.3000カレッジエイト		¥ 3,000	〃
No.2000キングダイヤ		¥ 2,300	〃
No.1000クイーンハート		¥ 2,000	〃
No.10スリーエース		¥ 1,800	〃
No.8スリーエイト		¥ 1,500	〃
No.7ラッキーセブン		¥ 1,200	〃
S－74オールアタック		¥ 5,000	株式会社諸江製作所
S－73オールマイティ		¥ 3,800	〃
No.3500キングメイト		¥ 4,000	〃
No.3000ゴールド・キング		¥ 3,500	〃
No.2500キング・アロー		¥ 2,800	〃
No.2000キングクリッパー		¥ 2,800	〃

銘柄名	価格	会社名
No.1000シルバーデラックス	¥ 1,900	株式会社諸江製作所
No.900スナップ	¥ 1,800	〃
No.800ダンディ	¥ 1,500	〃
ハタチフットワーク	¥ 4,000	羽立工業株式会社
ハタチカスタム	¥ 3,500	〃
ハタチフランチャー	¥ 3,000	〃
ハタチジオニー	¥ 2,000	〃
オールスチールグラード	¥ 3,500	〃
No.2000ニューブラック	¥ 2,000	㈱トヨダスポーツ
No.1000ニューミニ	¥ 1,800	〃
No.8ウインナー	¥ 1,300	〃
No.7シルバー	¥ 1,000	〃
ウェアの部		
S－14TTT半袖シャツ	¥ 2,800	河崎ラケット工業㈱
No.508リース半袖シャツ	¥ 2,200	〃
No.505リース・ノースリーブシャツ	¥ 2,100	〃
No.502リース・長袖シャツ	¥ 2,300	〃
No.500リース・半袖シャツ	¥ 2,100	〃
No.517リース・長袖ハイネックシャツ	¥ 2,300	〃
No.516リース・半袖ハイネックシャツ	¥ 2,100	〃
No.512リース長袖シャツ	¥ 1,700	〃
No.510リース・半袖シャツ	¥ 1,500	〃
K－11TTT巻スコート	¥ 3,800	〃
No.595リース・プリーツ・スコート	¥ 2,000	〃
No.594リース巻スコート	¥ 3,000	〃
No.590リースフレアースコート	¥ 2,500	〃
No.596リースアンダースコート	¥ 700	〃
No.535リースショートパンツ	¥ 2,100	〃
No.532リーストレッチショートパンツ	¥ 3,400	〃
No.373ルバードウェア半袖シャツ	¥ 1,900	株式会社 ゴーセン
No.372ルバードウェア半袖シャツ	¥ 1,900	〃
ルバードウェアショートパンツ	¥ 1,900 ¥ 2,050	〃
No.243女子ノースリーブシャツ	¥ 1,900	ヨネックス
No.140クールネックシャツ	¥ 1,800	〃
No.141男子シャツ	¥ 2,000	〃
No.142 〃 （ライン入り）	¥ 2,200	〃
No.241女子シャツ	¥ 2,000	〃
No.242 〃 （ライン入り）	¥ 2,200	〃
No.120ショートパンツ	¥ 2,800	〃
No.121ショートパンツ	¥ 2,400	〃
No.122ショートパンツ	¥ 2,100	〃
No.920女子ショートパンツ	¥ 2,500	〃
No.200女子巻きスカート	¥ 2,600	〃
No.201女子フレアースカート	¥ 1,900	〃
No.203女子プリーツスカート	¥ 1,800	〃
No.214女子ワンピース	¥ 5,500	〃
No.940女子ワンピース	¥ 6,500	〃
No.950女子プルオーバー	¥ 6,000	〃
シューズの部		
バドミントンシューズ	¥ 2,000	河崎ラケット工業㈱
バドミントンシューズ	¥ 2,000	ヨネックス
ネットの部		
倉敷ビニロンマツモトネット	¥ 3,400	松本製網株式会社
No.48TR	¥ 4,500	ミセミネット製作所
No.50VA	¥ 4,300	〃
No.52A	¥ 3,700	〃
T－518	¥ 4,200	株式会社寺西喜商店
カネヤビニロンB	¥ 4,100	鐘屋産業株式会社
カネヤナイロンA	¥ 4,700	〃
#70－2112	¥ 4,500	㈱ジィティヤング
#70－3015	¥ 3,900	〃
#70－3115	¥ 4,300	〃

マスコミのとらえた バドミントン

気軽に楽しめる バドミントン

風さえなければ空き地でも気軽に楽しめるバドミントンは、最近、県下でも普及しつつある。もともとインドのプーナ地方の土人が鳥を射止めるのを見ていたイギリスの将校が、これをヒントに競技化したといわれ、この将校の出身地の名前をとったのがバドミントンの由来という。これが約百年前のこと。日本では昭和五年ごろ神戸、横浜の港町で流行し始め、戦後急速に広まっていったという。県下は高体連加盟のクラブが約三十校あり、一般のクラブなどを合わせると四十二都道府県中、真ん中辺の普及ぶりである。約十年前には、掛川西高出身の中山（旧姓高木）紀子と天野博江選手の二人がニュージーランドで行われた世界選手権で優勝するなど、名選手の育つ〝下地〟は十分ありそう。

インドネシア、タイなどでは貴族のスポーツとして庶民から離れた面があるが、日本では庭球などの他の球技と違い、初めから割と簡単に出来るスポーツとして親しまれている。

バドミントンのシャトルコック（羽球）は本来は鳥の羽根のついたものだが、値が張るし、耐久力もないので、親しい仲間同士で楽しむには最近売られているナイロン製の球がいい。これだと飛距離、打った瞬間の感触など羽の球とあまり変わらない。ラケットはいいものは一万円を超すものもあるが、二～三千円のもので十分。場所は風さえなければどこでもいいが、屋内が理想的だ。正式のルールは六人制バレーと一緒で、サービスをした方が勝たなければ得点にならないが、簡易バドミントンルールというのもあり、最初はあまり形式にこだわらず、参加者の合意でわかりやすいやり方でやればいい。

バドミントンは北大のある教授の調査だとレスリングについで体力を消耗するスポーツだそうだ。これは庭球のように打球が強くないので、攻撃のポイントは、いかに相手をだますか、というフェイントにおかれ、神経をすり減らすからという。しかしこれは緊迫した公式の試合でのことだから、最初は〝楽しむ〟ことをねらいに気軽に始めよう。しかし打点は出来るだけ高く捕え、上から打つという基本型を覚えること。それでないと、正月の羽根つきのようになり、なかなか勝負がつかず、飽きてしまう。ママさんたちがプレーする時には慣れるまでかなりかかるので、最初は一チーム三人から四人の変則チームを作ってやるのも一方法だ。こうしてプレーがある程度出来るようになったら公式の大会に出るのも夢ではない。

県下では毎年スポーツ祭とSBB（静岡・バドミントン・ビギナーズ）大会で年齢制限なしのバドミントン競技をしている。参加は自由で毎年三百人ぐらいのビギナーが申し込むという。とにかく、バドミントンは足を使う競技なので、足が細くしなやかになること請け合い。打球の際、胸を張るので姿勢もよくなる。健康スポーツとしても推せん出来る。一般のグループでこれからバドミントンを楽しみたいと思ったら、県体協へ講習会開催の依頼をすれば、スケジュールがあいていれば県バドミントン協会（塩川甫理事長）が講師をさし向けてくれることになっているので、これも覚えておくと便利。

（静岡新聞　4・5）

〝全町に広める〟がユメ

十五歳の高校入学者から五十一歳の公民館長さんまで、老若男女・多種多様の人たちが、一つの的（シャトル）で集まり、つながっている――そんな感じの小所帯。

七年前、菊池郡大津町中央公民館が出来て間もなく、このクラブは創設された。吉村館長、菊池営林署勤務の藤井日出夫さんらが中心となって結成され、以来〝打倒菊池〟を合言葉に、毎週の練習は欠かさず続けられてきた。

現在、会員は二十数人。といっても毎週月、金の練習日に来られるのは十二、三人程度。一つには練習場（公民館の講堂）が狭いこともある。目下これが悩みのタネ。

昨年クラブ関係者から二つの意義深い〝ダブルス〟が誕生した。一つは会員の大田黒数美さん（国鉄職員）の長女由美さん（今春大津高校入学）が組んだ大津中の女子ダブルスが、見事九州一の栄冠を獲得。もう一つはバドミントンがとりもった人生の〝混合ダブルス〟斉藤周一・嘉代子夫婦の誕生。ダンナさんは菊池バスケットボールチームのポイントゲッターでもある。

所期の目標〝打倒菊池〟が実現（昨年の郡体）した今「底辺の拡大」が今後の課題。「各小学校にクラブをつくり、文字通りバドミントンの町にしたいですね」――吉村館長の実現間近な夢である。

（熊本日日新聞　4・1）

協会通信

このページは，全国各地の都道府県協会をはじめ各協会からの連絡のページです。試合の結果，会員の消息，催し物の連絡など，掲示板のつもりでご利用下さい。

岡山県協会

二月二十一日、県下の邑久町で行なわれた同町教育委員会主催の「立志式」で、本県山陽女高出身の湯木博恵選手（河崎ラケット）、毛利清志氏（県協会理事長）が講演された。

当日は、中学二年生男女約二〇〇名と父兄一五〇名が参加し、講演のあと、湯木選手と、山陽女高三年の近藤選手の実技も行なわれた。

三月二日には、瀬崎町教育委員会主催で、同町婦人会の実技指導講演が行なわれたが、県協会常務理事の西崎正明氏と、山陽女高の生徒が指導にあたった。

そして、三月三十一日、建部町教育委員会と同青年団の共催で、「第二回建部町健康づくり青少年大会」が開かれた。

この大会のねらいは、建部町の青少年男女が一堂に集まり、スポーツとレクリエーション活動をつうじて、体力の増強と若者の連帯をはかり、あわせて自主的な団体活動のルールを学ぶというもので、小学校五年生以上の青少年男女を対象としたものです。

当日は、毛利清志氏、湯木静恵選手の講演、模範演技が行なわれ、フォークダンスを楽しんだりして盛会のうちに終了した。

神奈川県協会

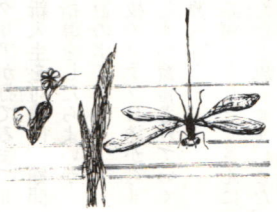
一月十九、二十日の両日、平塚見付台体育館で行なわれた第一回県中学生新人大会は、次のとおりの結果でした。

▽男子ダブルス
第一位＝西出・渡辺（渡田）、第二位＝赤羽根・伊藤（鶴が峯）
第三位＝秋葉・池田（仲尾台）
同　＝角田・小野寺（渡田）

▽女子ダブルス
第一位＝伊藤・早川（渡田）
第二位＝生方・藤田（〃）
第三位＝米山・富士原（鶴が峯）
同　＝青木・小金沢（大和）

▽男子シングルス
第一位＝伊藤（渡田）
第二位＝青柳（渡田）
第三位＝伊藤（明）（渡田）
同　＝久喜（仲尾台）

▽女子シングルス
第一位＝村田（鶴が峯）
第二位＝中沢（鶴が峯）
第三位＝安部（大和）
同　＝築田（渡田）



滋賀県協会

三月三十一日に行なわれた第三回県社会人バドミントンクラス別大会の成績は次のとおりでした。

▽男子A級シングルス
一位＝藤上良信（比叡山高校）
二位＝藤上良英（野洲西校）
三位＝古川（東レ）

▽男子B級シングルス
一位＝伊位恒範（松風陶歯）
二位＝富田（東レ）、三位＝増田（松下彦根）

▽男子C級シングルス
一位＝土井儀次（湖西広域消防）
二位＝山田（安曇川町商工会）
三位＝平田（ダイキン）

▽女子A級シングルス
一位＝坂上（松下彦根）、二位＝山田（同）、三位＝原田（しあわせ保育園）

▽女子B級シングルス
一位＝宮崎洋子（松下彦根）、二位＝藤井（同）、三位＝中原（東レ）

▽男子A級ダブルス
一位＝藤上良英、藤上良信、二位＝上田（東レ）小嶋（愛知川ダム）、三位＝富田（東レ）古川（同）

▽男子B級ダブルス
一位＝山本新一（市金）中村（西村織布）、二位＝吉田（松下クーラー）中藪（同）、三位＝西原（大津市役所）峠（東洋運搬）

▽男子C級ダブルス
一位＝佐藤（大津市役所）松井（同）、二位＝山田（安曇川町商工会）北川（滋賀相銀）、三位＝西居（八幡信金）谷川（同）

▽女子A級ダブルス
一位＝板上紀代美（松下彦根）藤井清子（同）、二位＝宮崎（松下彦根）山田（同）

▽女子B級ダブルス
一位＝大久保芳枝（八日市市役所）青木洋子（松下八日市）

富山県協会

第四回県実業団選手権大会は、北日本新聞社などの協賛で、三月三十一日午前九時から、高岡市立体育館でひらかれ、結果は次のとおりでした。

▽一般男子シングルス
一位＝今泉（高岡市役所）
二位＝京田（〃）

▽一般男子ダブルス
一位＝今泉・河村（高岡市役所）
二位＝関村・牧野（〃）

▽一般女子シングルス
一位＝高田（黒谷）
二位＝山本（不二越）

▽一般女子ダブルス
一位＝大井・西田（不二越）
二位＝山本・中川（〃）

▽三十歳シングルス
一位＝大野（十条伏木）
二位＝西島（YKK）

▽三十歳ダブルス
一位＝堺・大野（十条伏木）
二位＝西島・高橋（YKK）

▽混合ダブルス
一位＝大井・畑（不二越）
二位＝山本・永原（〃）



■最近、本誌のバックナンバーを希望される方が多いため、協会資料用の一部をご希望の方に頒布いたします。ご希望の方は、代金と送料を現金書留で、〒150東京都渋谷区神南一ノ一ノ一岸記念体育会館内・日本バドミントン協会・バド界編集部へお申し込み下さい。送料は5号以降は、1冊＝20円、2冊＝32円、3冊＝44円、4冊＝56円、5冊＝68円、6冊＝80円、7冊～10冊＝170円、11冊～13冊＝200円、14冊～19冊＝300円、20冊以上＝350円。1号から4号までの号が1冊でも含まれる場合は（第3種郵便物認可時期の問題があるため）、1冊＝70円、2冊＝115円、3冊＝175円、4冊～13冊＝250円、14冊～19冊＝300円、20冊以上＝350円。端数の代金は切手代用でけっこうです。

定価は、1号～21号＝100円、22・23合併号＝200円、24号＝100円、25号～49号＝130円。

■バドミントン界バックナンバー

創刊号＝品切れ
2号＝国際学生選手権ほか
3号＝全国に広がる底辺活動
4号＝品切れ
5号＝品切れ
6号＝品切れ
7号＝品切れ
8号＝品切れ
9号＝品切れ
10号＝品切れ
11号＝品切れ
12号＝品切れ
13号＝インターハイ総特集
14号＝教職員選手権ほか
15号＝ケガに強くなろう
16号＝品切れ
17号＝目で見る技術講座
18号＝全日本総合選手権詳報
19号＝アジア大会総まくり
20号＝社会人・学生対抗ほか
21号＝底辺拡大を
22号＝〕小島はなぜハルトノに
23号＝〕勝てない（合併号）
24号＝中国との交流問題
25号＝インターハイ特集
26号＝青春の映像・相沢マチ子
27号＝次代のトップをさぐる
28号＝女子学生界の展望
29号＝梅野尾初優勝
30号＝第1回国際女子競技会
31号＝全英で単複制覇
32号＝品切れ
33号＝品切れ
34号＝宿願のユ杯3連覇
35号＝品切れ
36号＝インターハイ特集
37号＝ト杯地区決勝で敗る
38号＝中国バドミントンの実力
39号＝国体詳報
40号＝小島復活（全日本総合）
41号＝第2回国際女子競技会
42号＝品切れ
43号＝品切れ
44号＝品切れ
45号＝品切れ
46号＝続・中国の実力と周辺
47号＝インハイ総特集
48号＝第1回日中大会詳報
49号＝国体・全日本総合特集
50号＝中国選手に学ぶ
51号＝第3回国際大会
52号＝海外遠征速報
53号＝全英選手権を終えて
54号＝ピンナップ特集

編集室から

○…第55号をお届けいたします。今回は、女子チャンピオンズートーナメントを特集しました。

全英選手権の覇者、湯木博恵選手は圧倒的に強く、若手の挑戦を退けて優勝したわけですが、期待の新人、徳田・井上両選手の健闘ぶり、古谷選手の決勝進出などの様子もあわせてお楽しみください。

○…小島一平選手の連載も第4回を迎え、いよいよコート内でのフットワークから、実際面の練習方法へと進展してきました。ますます快調、次回が楽しみです。

○…「バドミントンと私」という好論は地主大造先生のいかがですか。中学生指導にあたられている現場の意見として、大変参考になるものです。

地主先生には、〝バドミントン・エッセイ〟をお願する予定です。テーマは現在企画中ですが、だいたい次のようになりそうです。

●あるバドミントン一家＝バドミントン一家のエピソードのかずかずを、楽しい話題をおりこみながら。

●ゲームを見ながら、撮りながら＝上級生や名プレヤーの試合を見るときの賢い見方、写真の撮り方について。

●新入部員、中1、高1大いに語る＝座談会形式で。

●ハイクリアが打てるまで＝中学生の新入生を対象に、顧問はどんな指導をしたらよいか、初歩の練習のポイント。

●わが校のクラブ日誌から＝基礎が少しずつ習得されていく時期の練習内容……。

楽しい話題をもりだくさんにしていきたいと思います。また、地主先生は、非常に写真のほうも大した腕前ですので、こちらのほうも誌上で発表していきたいと考えています。ご期待ください。

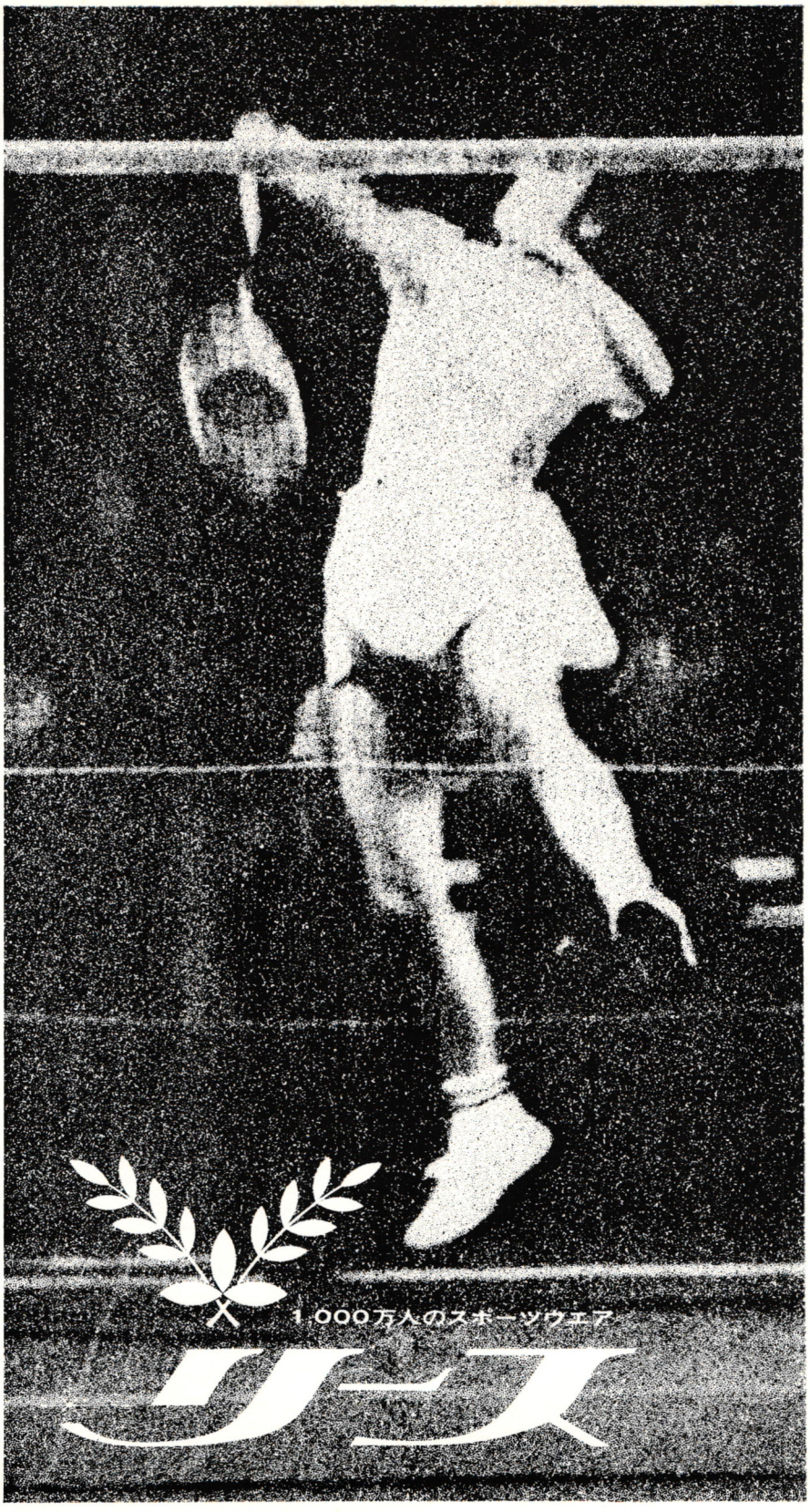
○…マスコミ関係に、最近はバドミントンが取り上げられるようになってきているのは大変喜ばしいことですが、五月二十三日にベースボールマガジン社より「バドミントン――スポーツマガジン7月号」が発行されます。内容は全英選手権、デンマーク選手権など豊富な写真と情報がもりこまれているとのことです。本誌「バド界」でも、全英選手権、デンマーク選手権の特集号を7月号（6月25日発行の第57号）として発行しますが、写真は、ベースボールマガジン社と調整して重複しないようにいたしますのでご心配なく。（S）



【バドミントン界】第55号
昭和49年4月25日　印刷
昭和49年5月1日　発行
編集兼発行人　秦　浩
発行所　東京都渋谷区神南一の一の一
岸記念体育館内
日本バドミントン協会
電話　四六七・三一一一（内線）二五一
四六七・七〇九五（直通）
郵便番号・一五〇
振替口座・東京三二一九三
印刷所　東京都豊島区南大塚二一二九
明宏印刷株式会社
定価　一部　二百二十円

©無断転載を禁ず

この一瞬!!



あなたはひかる――はげしい動き、ふき出す汗、すべての条件を
プレイヤー本位に満たすカワサキの〝リース〟はあなたのウエアです。

K TOKYO
河崎ラケット工業株式会社
東京都台東区台東2-28-5 電話(831)-884・0453

月刊「バドミントン界」第55号
昭和四十九年五月一日発行
（毎月一回一日発行）
昭和四十四年十二月二十三日 第三種郵便物認可
発行所 東京都渋谷区神南一ノ一ノ一 岸記念体育会館内
日本バドミントン協会 定価二百二十円



国籍は世界。ヨネックス。

ヨネヤマが
社名変更しました。

世界の一流プレイヤーに使われ、世界のコートで熱い視線を浴びてきたヨネヤマが、名前を変えました。いま、こころも新たにヨネックス。世界のレベルを決めるブランドに、ふさわしい名前です。グローバルな響きです。バドミントンを科学の目でとらえるヨネヤマの、力強い変身。ヨネックス。この5文字が、ことばの違いを越え、国籍を越えて、ひとびとの心をひとつに結びます。すでにもう、世界のひとたちはかってのヨネヤマをヨネックスと、そう呼びはじめました。さあ、あなたも。

No.9000
ハイステンレス
￥4,800(フレーム・ケース付)

YONEX